

「根室市新長期総合計画策定に係る市民意識調査」集計結果

調 査 概 要

- 調 査 対 象 16歳以上の市民より3,000人を無作為に抽出
- 調 査 期 間 平成25年5月29日(発送)～平成25年6月28日
- 有効回収数 883件(回収率29.4%)
- 調 査 方 法 郵送による無記名アンケート調査

1 回答者の特性

A-1 性別

選択項目	人数	構成比
男性	360	40.8%
女性	490	55.5%
無回答	33	3.7%
合計	883	100.0%



A-2 年齢

選択項目	人数	構成比
18歳未満	19	2.2%
18～19歳	10	1.1%
20歳代	50	5.7%
30歳代	104	11.8%
40歳代	136	15.4%
50歳代	144	16.3%
60～64歳	105	11.9%
65～74歳	169	19.1%
75歳以上	132	14.9%
無回答	14	1.6%
合計	883	100.0%

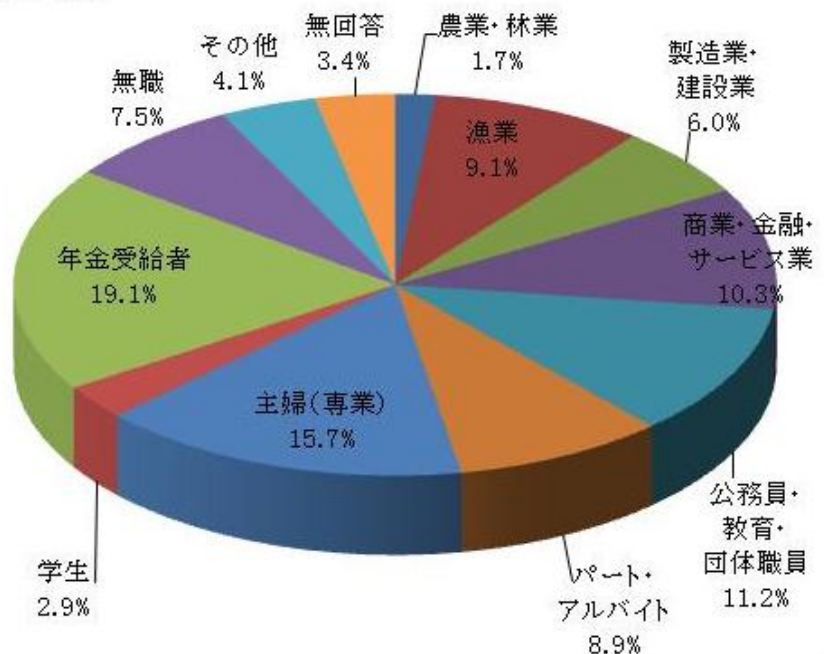


回答者の年齢別構成は、65～74歳が19.1%と最も多く、次いで50歳代の16.3%、40歳代の15.4%と続いている。また60歳以上の回答者が45.9%を占めている。

A-3 職業

A-3 職業

選択項目	人数	構成比
農業・林業	15	1.7%
漁業	80	9.1%
製造業・建設業	53	6.0%
商業・金融・サービス業	91	10.3%
公務員・教育・団体職員	99	11.2%
パート・アルバイト	79	8.9%
主婦(専業)	139	15.7%
学生	26	2.9%
年金受給者	169	19.1%
無職	66	7.5%
その他	36	4.1%
無回答	30	3.4%
合計	883	100.0%



回答者の職業は、年金受給者が19.1%と最も多く、次いで主婦(専業)の15.7%、公務員・教員・団体職員の11.2%と続いており、職業別において10年前と比較して年金受給者、無職の割合が増加している。

A-4 居住年数(通算)

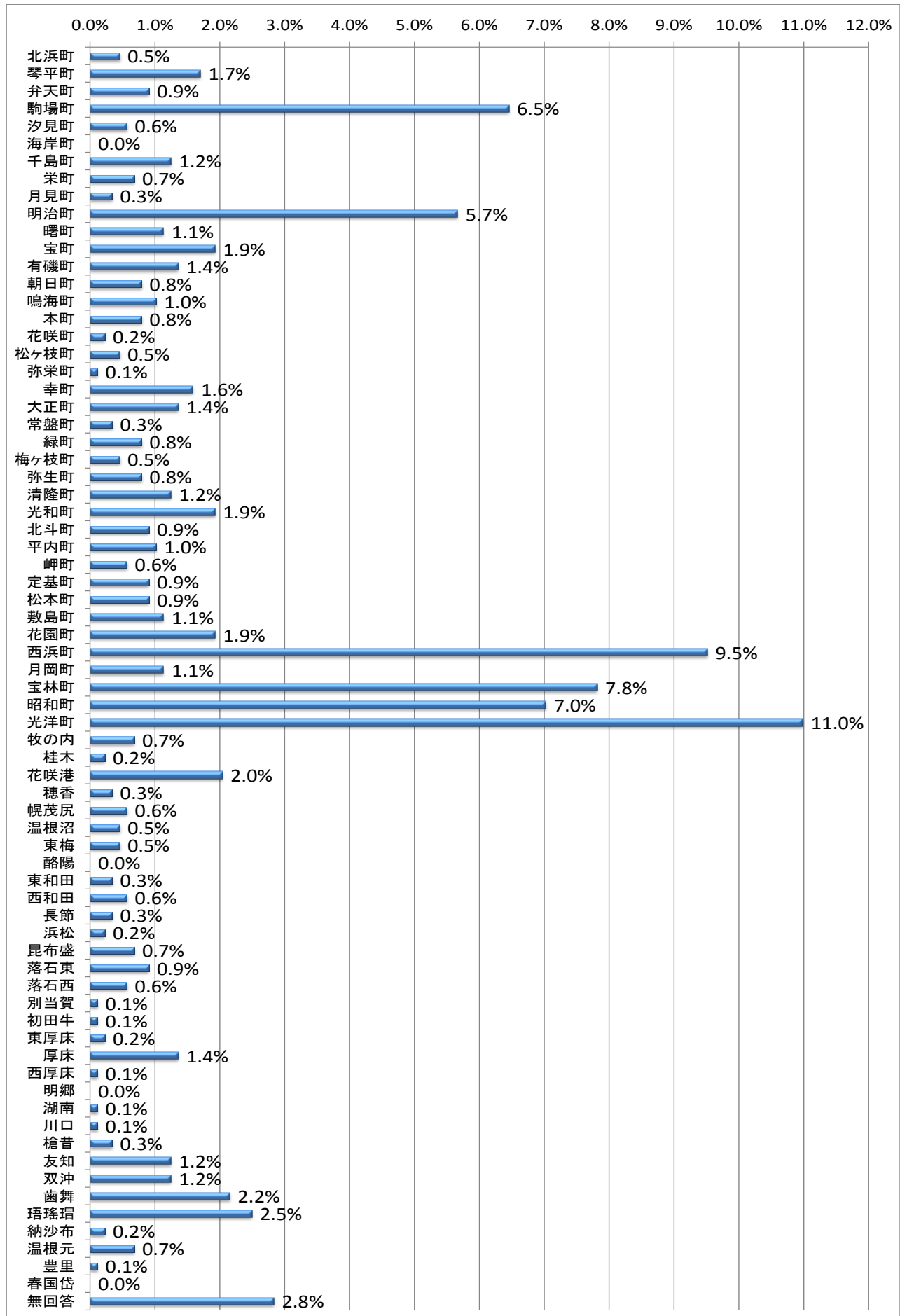
A-4 居住年数(通算)

選択項目	人数	構成比
5年未満	77	8.7%
5～9年	19	2.2%
10～19年	55	6.2%
20～29年	69	7.8%
30～39年	119	13.5%
40年以上	531	60.1%
無回答	13	1.5%
合計	883	100.0%



回答者の居住年数は、40年以上が最も多く60.1%と6割を占め、次に30～39年が13.5%、5年未満が8.7%となっており、居住歴30年以上の長期居住者が73.6%を占めている。

A-5 居住地域



2 根室市の現状について

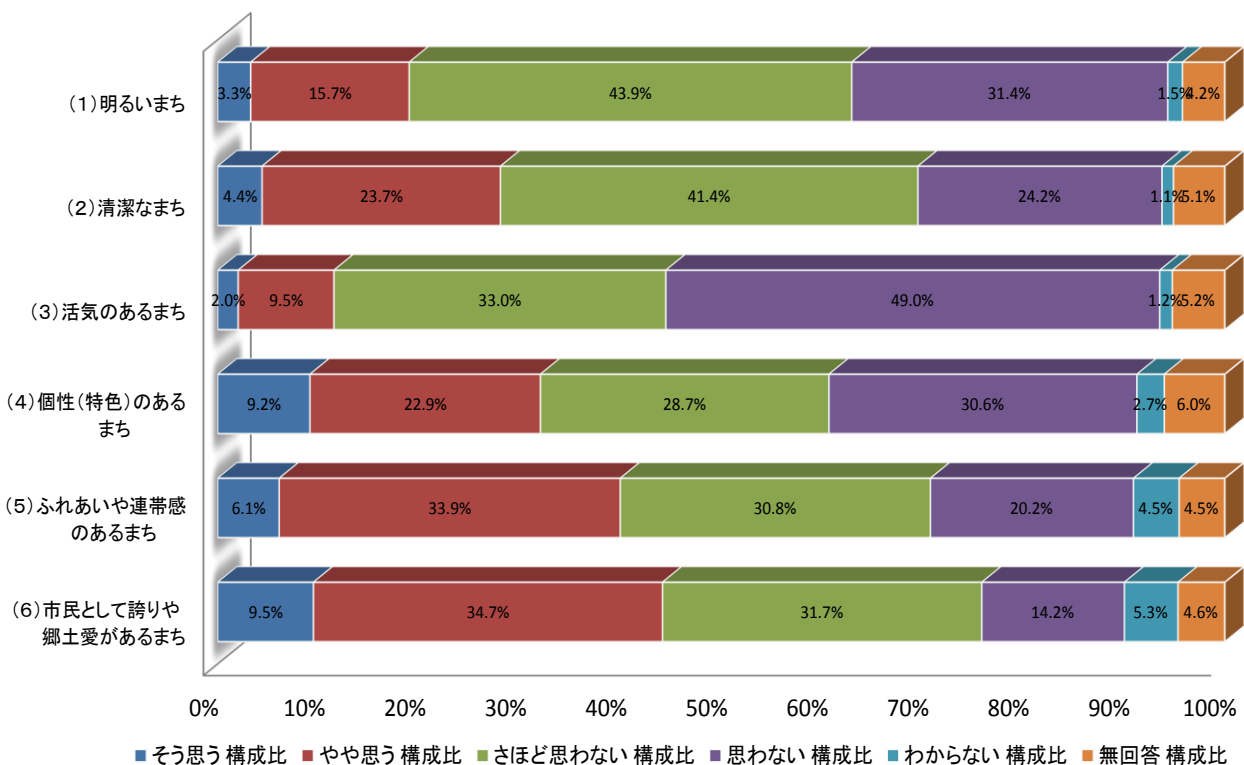
問2 根室市の印象(イメージ)についてお尋ねします。

根室市の印象(イメージ)について尋ねたところ、「(1)明るいまち」～「(6)市民として誇りや郷土愛があるまち」いずれも「さほど思わない」、「思わない」を合わせた回答が「そう思う」、「やや思う」を合わせた回答を上回る結果となった。

この結果は、10年前の意識調査においても、同様であったが、一方で、「そう思う」、「やや思う」と回答した割合は、10年前と比較し、増加していることから、良い印象を持つ市民が増加していると思われる。

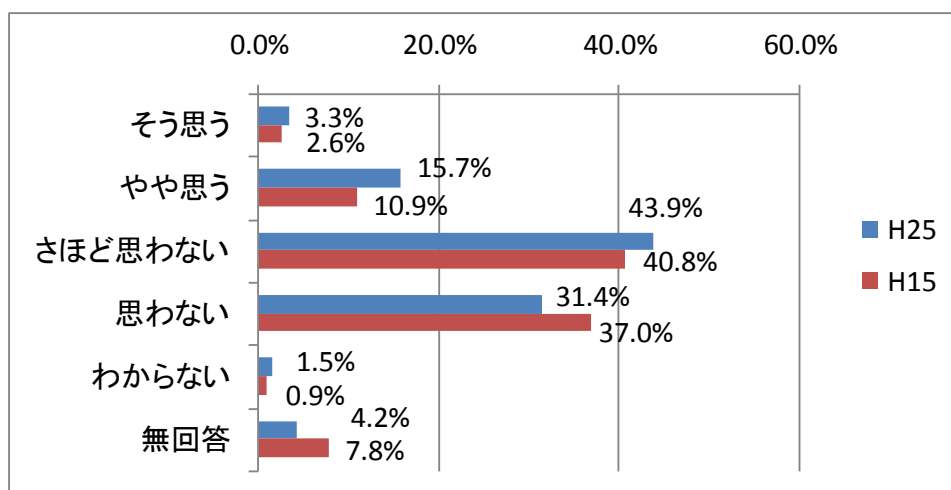
【図表1 根室市の印象について(H25年)】

	そう思う		やや思う		さほど思わない		思わない		わからない		無回答		計	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
(1) 明るいまち	29	3.3%	139	15.7%	388	43.9%	277	31.4%	13	1.5%	37	4.2%	883	100.0%
(2) 清潔なまち	39	4.4%	209	23.7%	366	41.4%	214	24.2%	10	1.1%	45	5.1%	883	100.0%
(3) 活気のあるまち	18	2.0%	84	9.5%	291	33.0%	433	49.0%	11	1.2%	46	5.2%	883	100.0%
(4) 個性(特色)のあるまち	81	9.2%	202	22.9%	253	28.7%	270	30.6%	24	2.7%	53	6.0%	883	100.0%
(5) ふれあいや連帯感のあるまち	54	6.1%	299	33.9%	272	30.8%	178	20.2%	40	4.5%	40	4.5%	883	100.0%
(6) 市民として誇りや郷土愛があるまち	84	9.5%	306	34.7%	280	31.7%	125	14.2%	47	5.3%	41	4.6%	883	100.0%

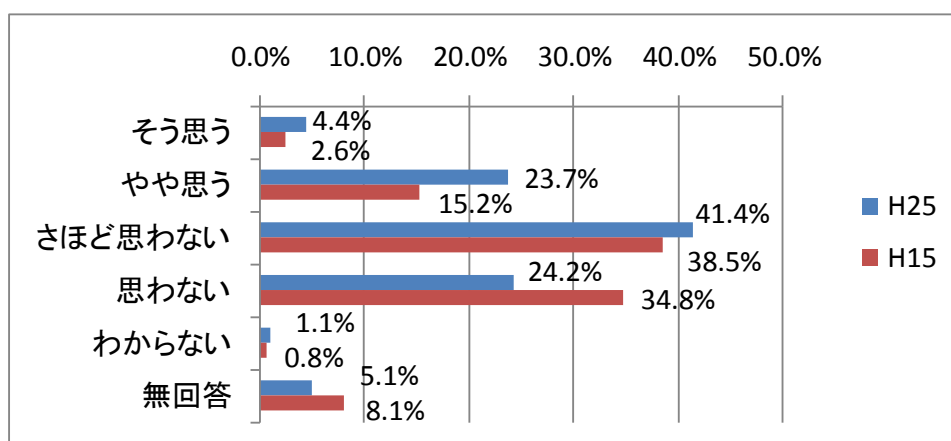


【図表2 根室市の印象について 前回調査(平成15年度)との比較】

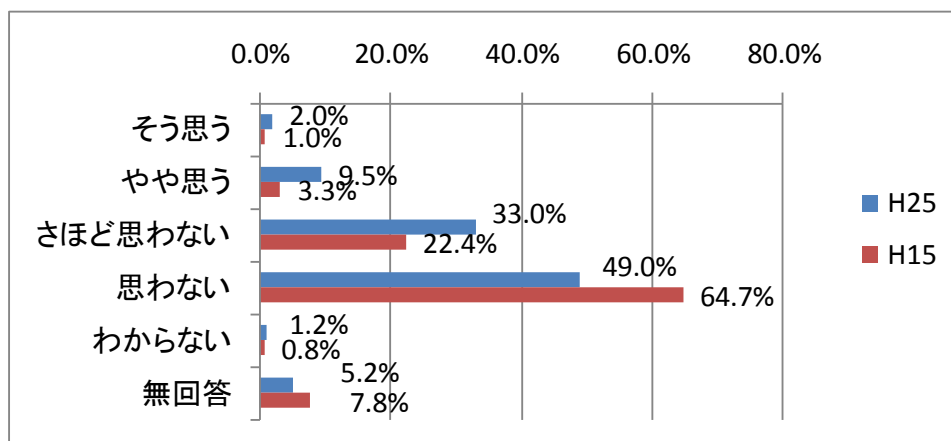
(1) 明るいまち



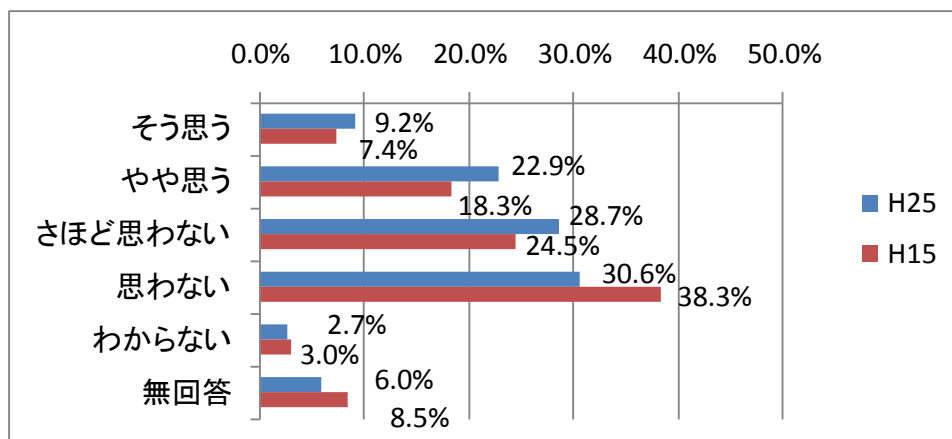
(2) 清潔なまち



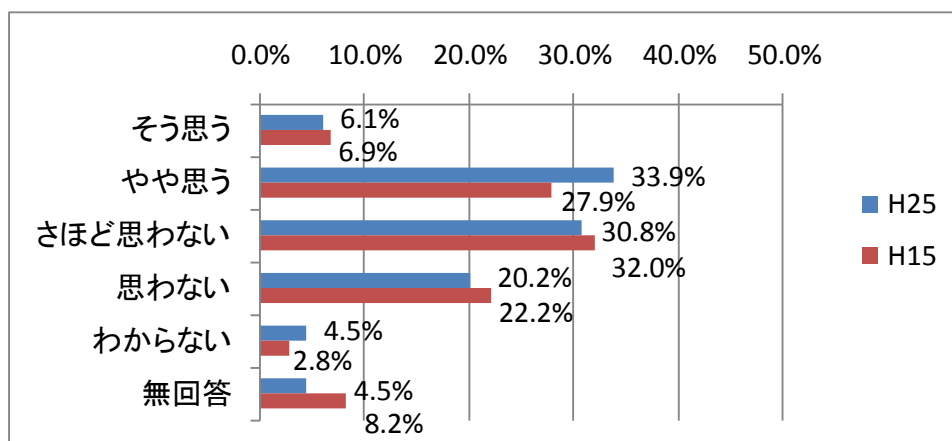
(3) 活気のあるまち



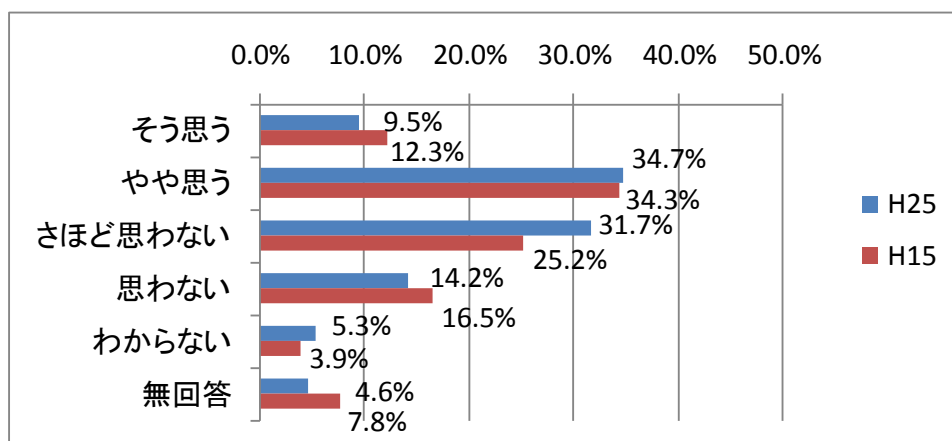
(4)個性(特色)のあるまち



(5)ふれあいや連帯感のあるまち



(6)市民として誇りや郷土愛があるまち



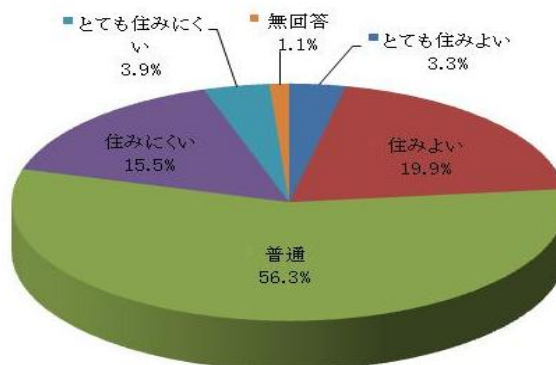
問3 あなたにとって根室市は、住みよいまちだとお考えですか。

当市の住みよさについて尋ねたところ、最も多かったのが、「普通」であり、回答者の56.3%を占めている。「とても住みよい」、「住みよい」を合わせた『住みよさ』を評価する回答は23.2%であり、「住みにくい」、「とても住みにくい」を合わせた『住みにくい』と評価する回答19.4%を上回る結果となった。

0-1 根室市は住みよいまちだとお考えですか。（1つ選択）

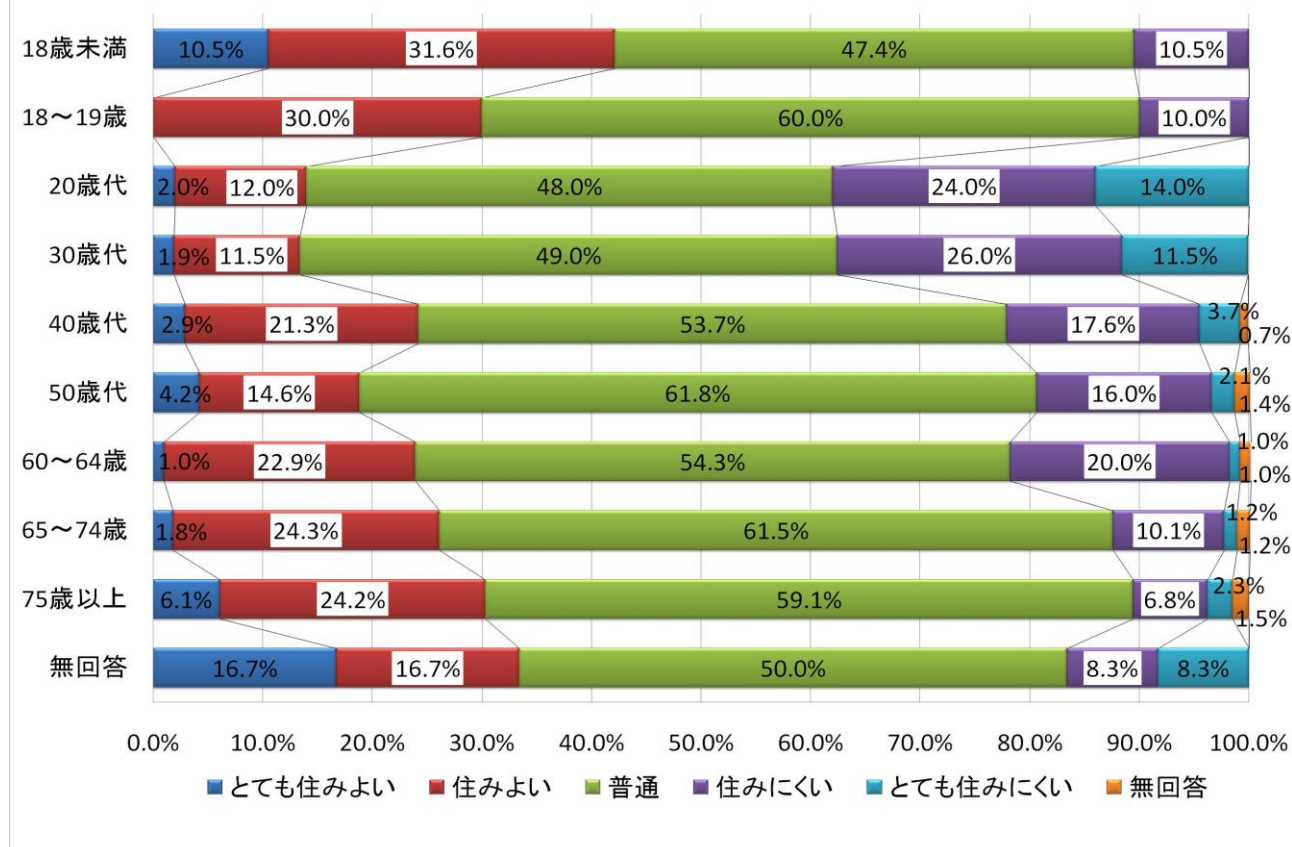
0-1 根室市は住みよいまちだとお考えですか。（1つ選択）

選択項目	人数	構成比
とても住みよい	29	3.3%
住みよい	176	19.9%
普通	497	56.3%
住みにくい	137	15.5%
とても住みにくい	34	3.9%
無回答	10	1.1%
合計	883	100.0%



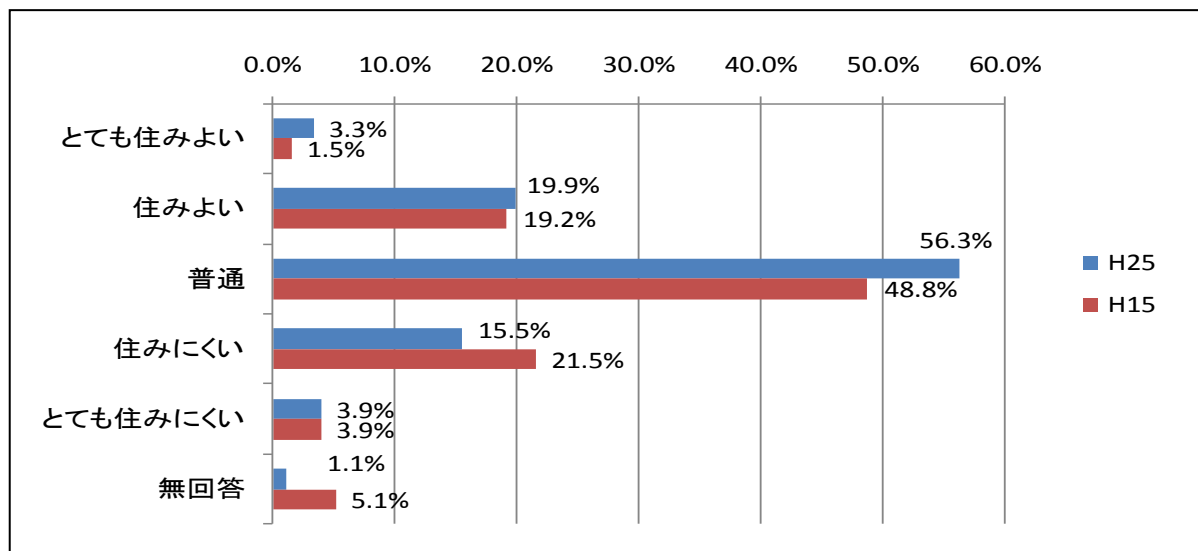
問3の回答における年代別の構成比

問3の年代別の回答構成比については、各年代とも「普通」と回答する人が一番多い結果となっており、約5割～6割を占めている。若年層（18歳未満～30歳代まで）では、19歳以下の世代が約3割「住みよい」と回答しているのに対し、20歳～30歳の世代は、「住みよい」と答えた人の2倍以上の人が「住みにくい」と回答しており、評価が分かれる結果となった。



【図表3 居住の満足度について 前回調査との比較】

10年前と比較すると、「とても住みよい」、「住みよい」、「普通」と回答する人の割合がいずれも増加し、「住みにくい」と回答した人の割合も大きく減少しており、『住みよさ』について、一定の評価を得ていることが窺える。



■住みにくい理由

- 医療面で不自由、不安な事が多すぎる。
- 出産(分娩)できない。
- 人口が減り商店も減り根室市の中心部がどこなのかわからない。公共施設も四方八方にあり不便です。
- 障害のある人や福祉、赤ちゃん・子供に対しての支援が手厚いとはとても言い難い状況。
- 他都市へのアクセスが不便。
- 生活に必要な物はあるが、それ以外は何もない。ネットを使わなければ何もそろわないと感じる。
- 若者が働く場所がない。

■とても住みにくい理由

- 小さな子供や妊婦に優しいとは思えない。
- 交通。特急列車か高速道路が必要。
- 下水道の整備が遅れている。
- 子供を育てる環境が整っていない。
- この地域しか知らない人間が多いのかどこへ行ってもマナーのない、気分の悪くなる人ばかりに早くこの地を離れたいと感じること多々。
- 地縁による結び付きが強く、外からの転入者を受け入れない。政策が金を儲けることに固執しすぎており、人を金でしか見ていない。

問4 あなたは、今後も根室市に住みたいと思いますか。

今後も根室市に住みたいかを尋ねたところ、「できれば住みたい」が356人(40.3%)と一番多く、次に「できれば住みたくない」237人(26.8%)となっている。

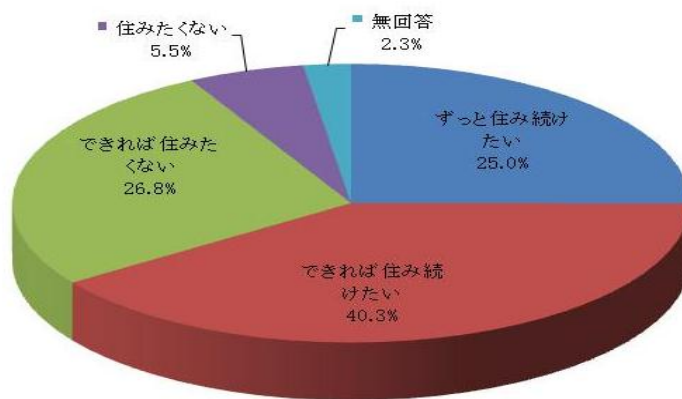
「ずっと住みたい」、「できれば住みたい」と合わせた『住みたい』が65.3%を占め、「できれば住みたくない」と「住みたくない」を合わせた『住みたくない』の32.3%の約2倍となっている。

10年前も同様の結果となっており、『住みたい』と考えている人が多数を占めていることがわかる。

D-1 今後も根室市に住みたいと思いますか。(1つ選択)

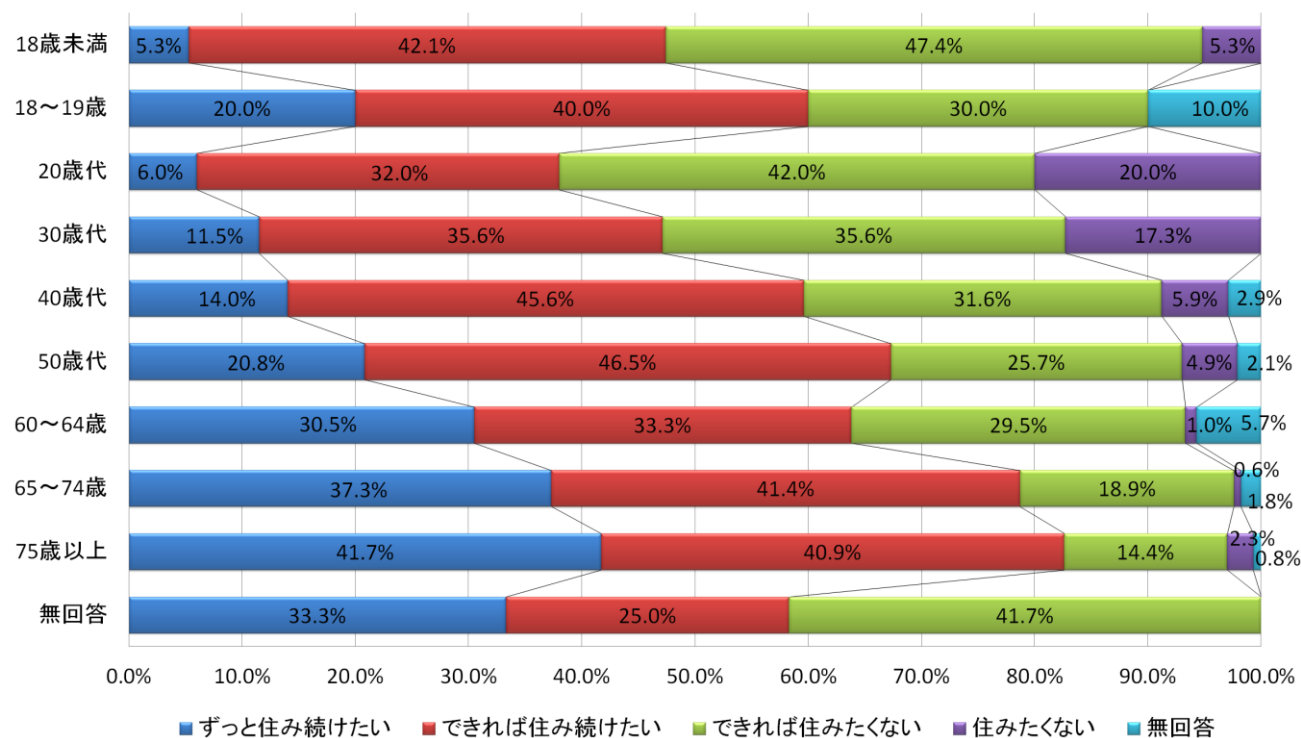
D-1 今後も根室市に住みたいと思いますか。(1つ選択)

選択項目	人数	構成比
ずっと住みたい	221	25.0%
できれば住みたい	356	40.3%
できれば住みたくない	237	26.8%
住みたくない	49	5.5%
無回答	20	2.3%
合計	883	100.0%

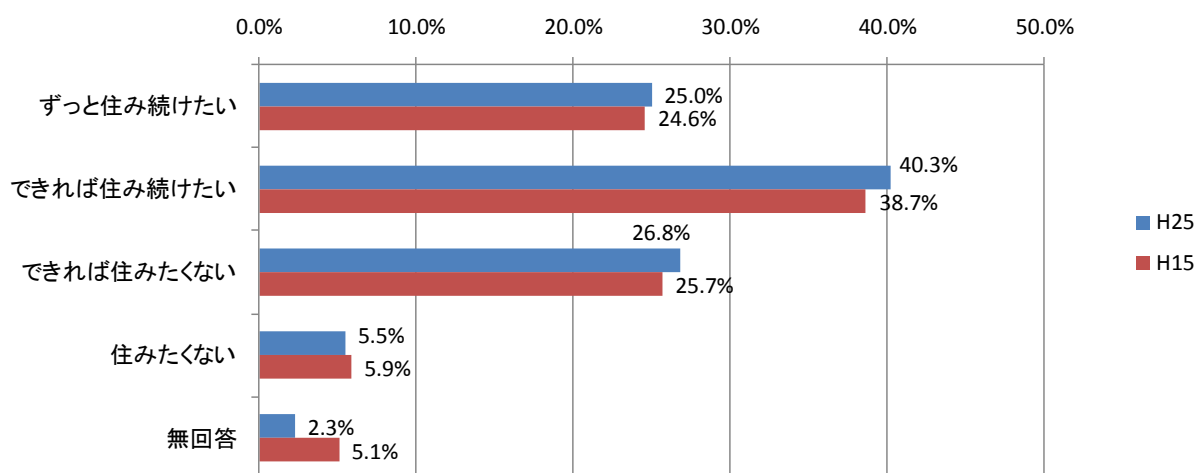


問4の回答における年代別の構成比

問4の年代別の回答構成比については、40歳以上の年代では、「ずっと住みたい」、「できれば住みたい」を合わせた肯定的な回答が約6割以上を占める結果となっている。



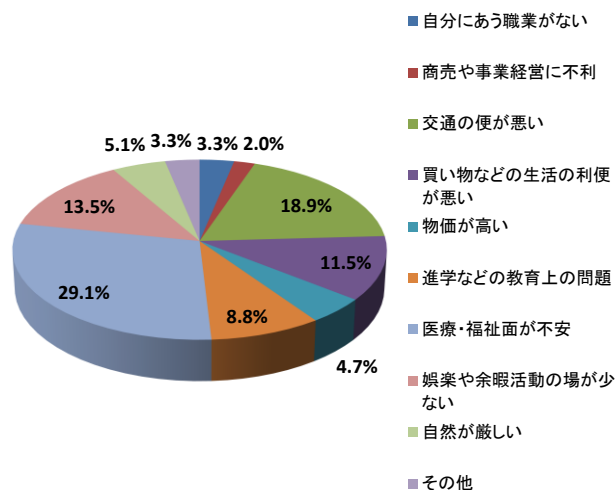
【図表4 定住度について 前回調査との比較】



問5 問4で「3. できれば住みたくない」、「4. 住みたくない」と思われた主な理由は何でしょうか。
(3つまで選択)

問4において「できれば住みたくない」、「住みたくない」と回答した286人に、その理由を尋ねたところ、205人(29.1%)の市民が「医療・福祉面が不安」と回答、次いで「交通の便が悪い」133人(18.9%)、「娯楽や余暇活動の場が少ない」95人(13.5%)等となっている。

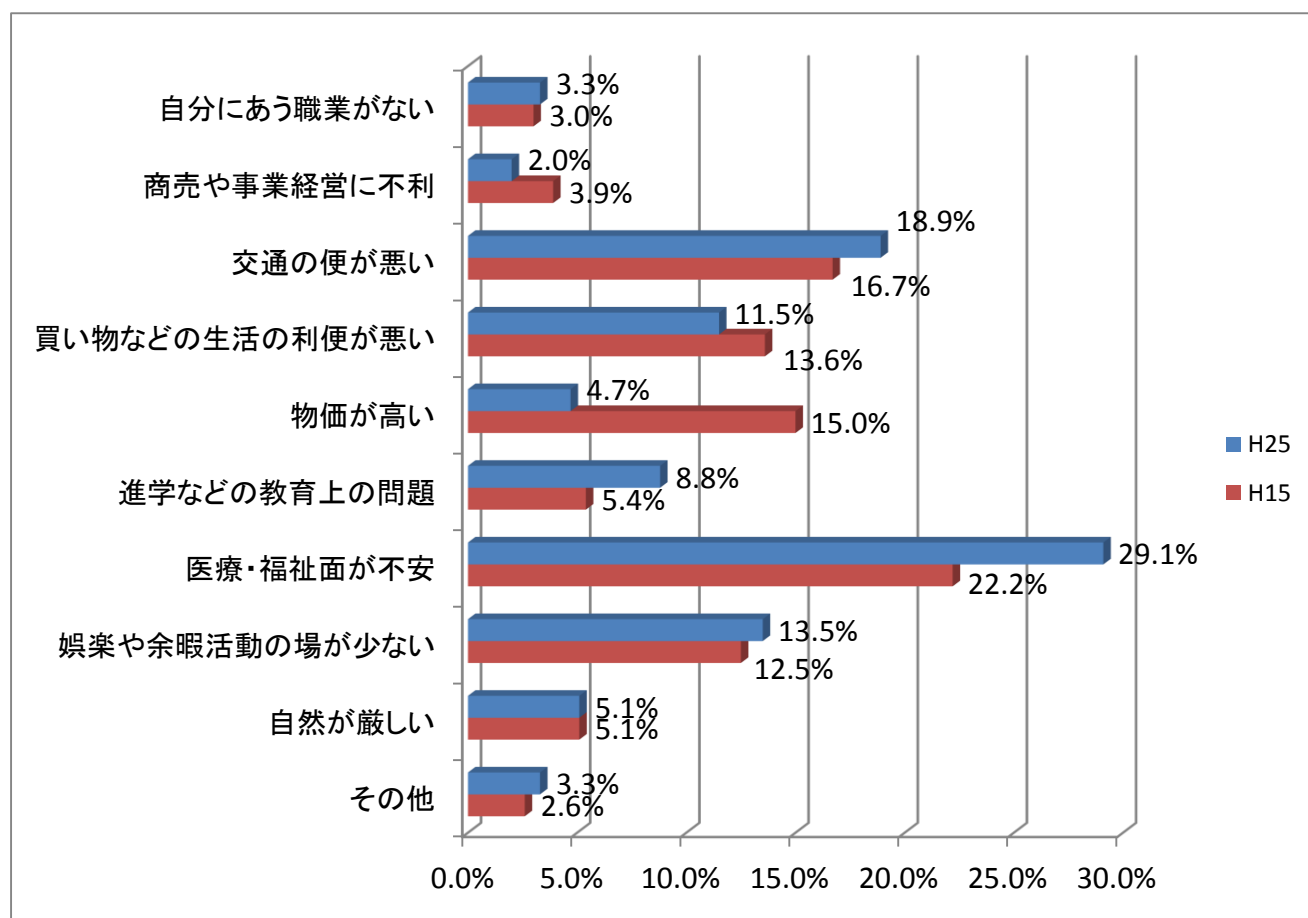
	回答数	構成比
自分にあう職業がない	23	3.3%
商売や事業経営に不利	14	2.0%
交通の便が悪い	133	18.9%
買い物などの生活の利便が悪い	81	11.5%
物価が高い	33	4.7%
進学などの教育上の問題	62	8.8%
医療・福祉面が不安	205	29.1%
娯楽や余暇活動の場が少ない	95	13.5%
自然が厳しい	36	5.1%
その他	23	3.3%
計	705	100%



■その他の主な意見

- 市役所・病院全ての職員考え方が変わっている。根室市を盛り上げようとする意欲がみられない。
- はじめに入る個人商店では、必ず品定めされるかのようにジロジロ見られ、気分が悪い。
- 医療体制が充実していないので、助かる命も助けられない事態が起きていると思う。根室市は外れなので、何処へ行くにも交通面でも遠く不便。

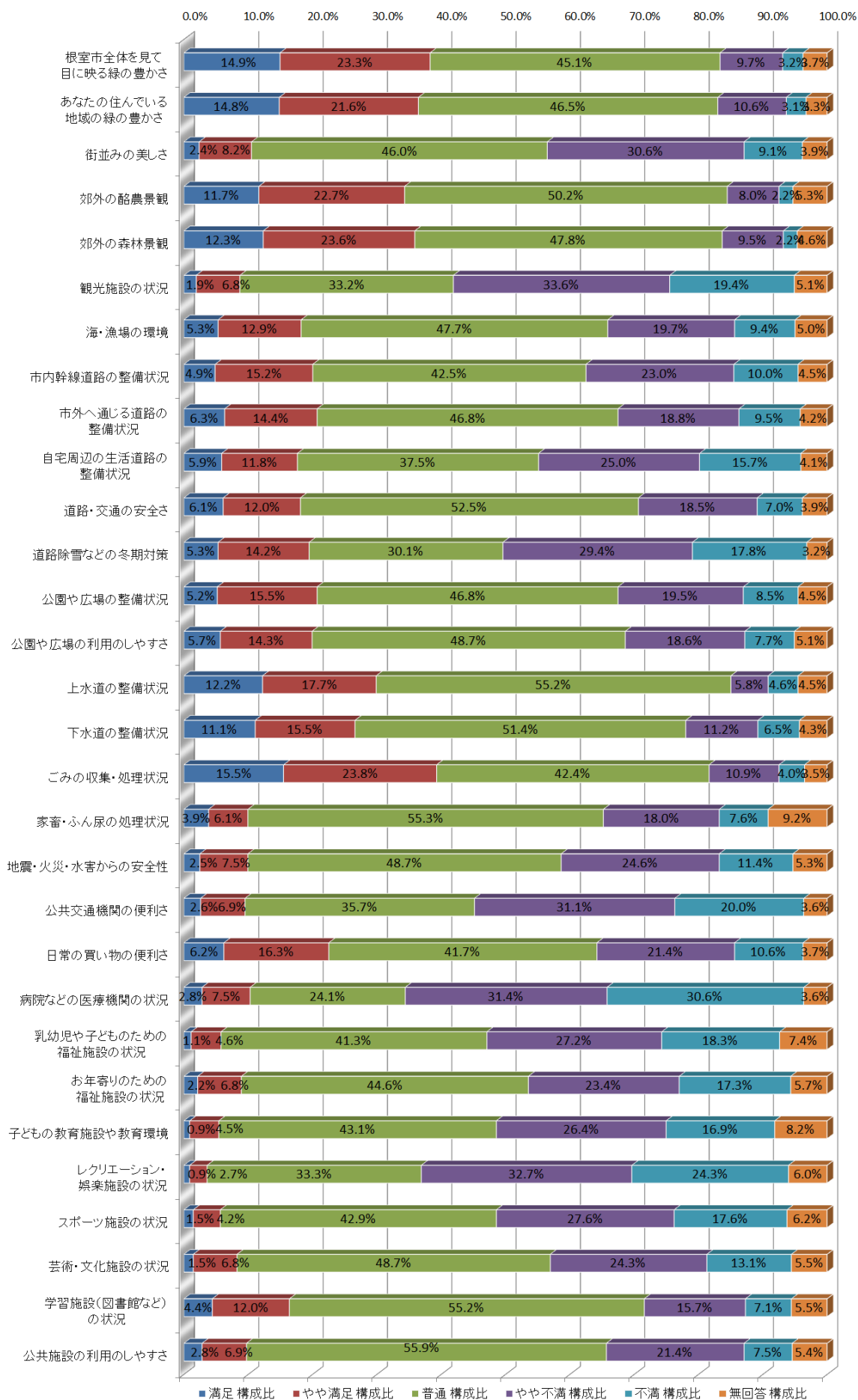
【図表5 「できれば住みたくない」、「住みたくない」理由について 前回調査との比較】



10年前と比較し、「医療・福祉面が不安」、「交通の便が悪い」との回答が多い結果に変化はなかったものの、特に医療・福祉面が不安と答えた人の割合が6.9%も増加する結果となった。

一方、前回調査時(平成15年)には「物価が高い」と答えた人の割合が15.0%を占めたのに対し、今回の調査においては4.7%と大きく減少する結果となった。

問6 あなたは、根室市の現状についてどの程度満足されていますか。



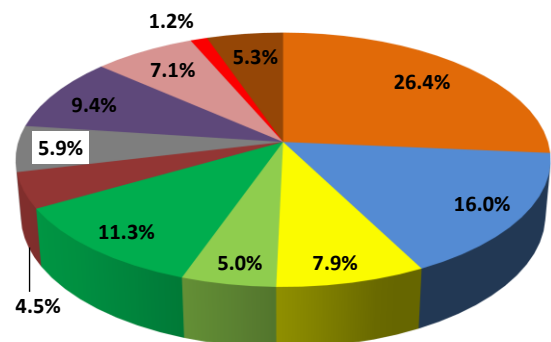
3 根室市の今後について

問7 あなたは将来の根室市がどのようなまちになることを望みますか。(3つ選択)

将来、根室市にどのようなまちになることを望むか尋ねたところ、「福祉・医療が充実したまち」が26.4%と最も多く、次に「産業が盛んなまち」で16.0%、「自然環境を活かした観光の盛んなまち」が11.3%となっている。

医療・福祉等に関しては、問5の住みたくない理由においても、最も多い回答であることから、市民が医療・福祉の充実・改善を望んでいることが窺える。

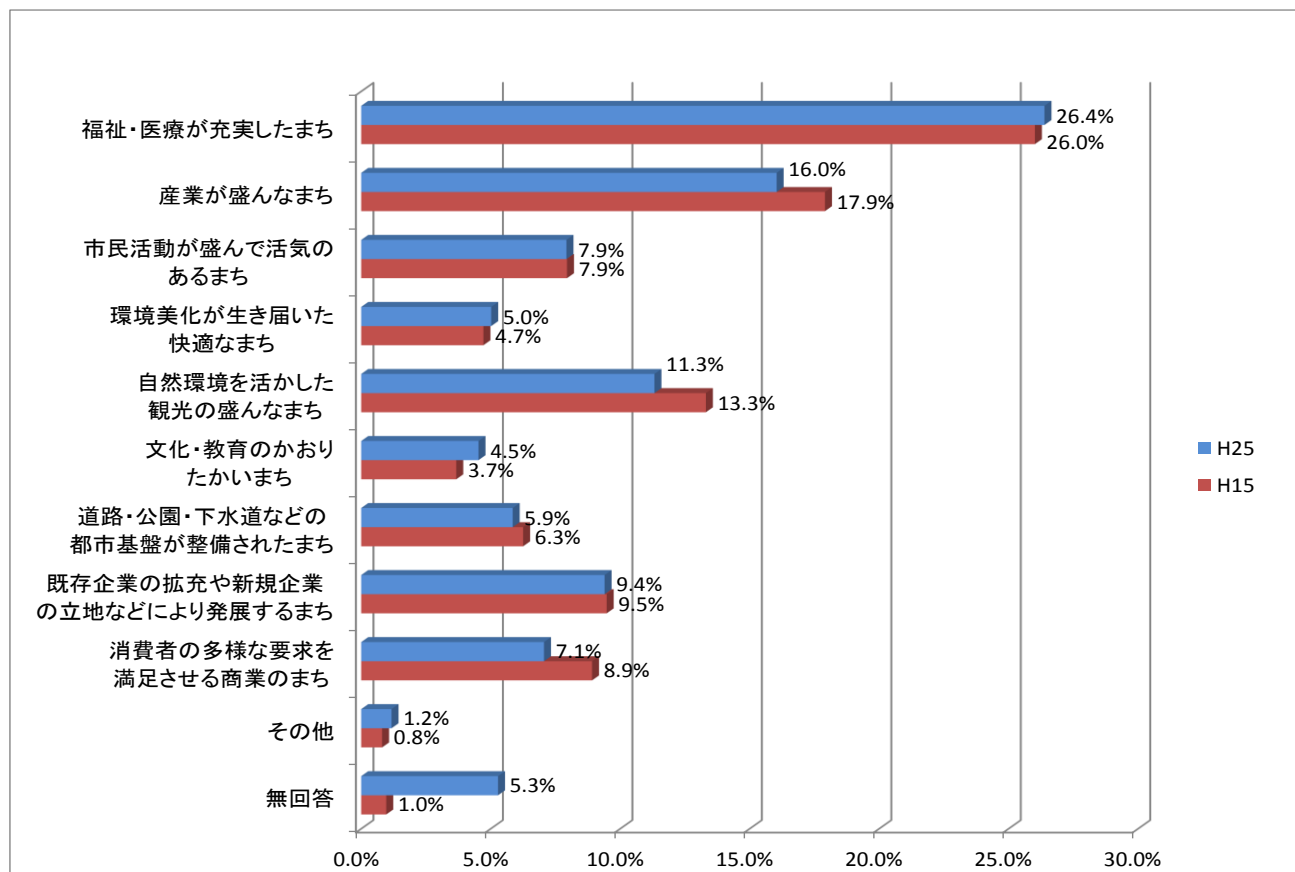
	回答数	構成比
福祉・医療が充実したまち	699	26.4%
産業が盛んなまち	425	16.0%
市民活動が盛んで活気のあるまち	210	7.9%
環境美化が生き届いた快適なまち	133	5.0%
自然環境を活かした観光の盛んなまち	300	11.3%
文化・教育のかおいたかいまち	120	4.5%
道路・公園・下水道などの都市基盤が整備されたまち	155	5.9%
既存企業の拡充や新規企業の立地などにより発展するまち	249	9.4%
消費者の多様な要求を満足させる商業のまち	187	7.1%
その他	31	1.2%
無回答	140	5.3%
計	2,649	100.0%



■その他の主な意見

- 地震が多い地域なので、対策を万全にしている町へ。
- 都会に劣らず十分に高い教育レベルを子供たちが受けられる街。
- 教育や福祉にお金をかけ、下手な財政運営をしないまち。
- 領土問題を地域の疲弊の理由にすることなく、新しいものを生み出していく姿勢のあるまち。

【図表6 まちの将来像について 前回調査との比較】



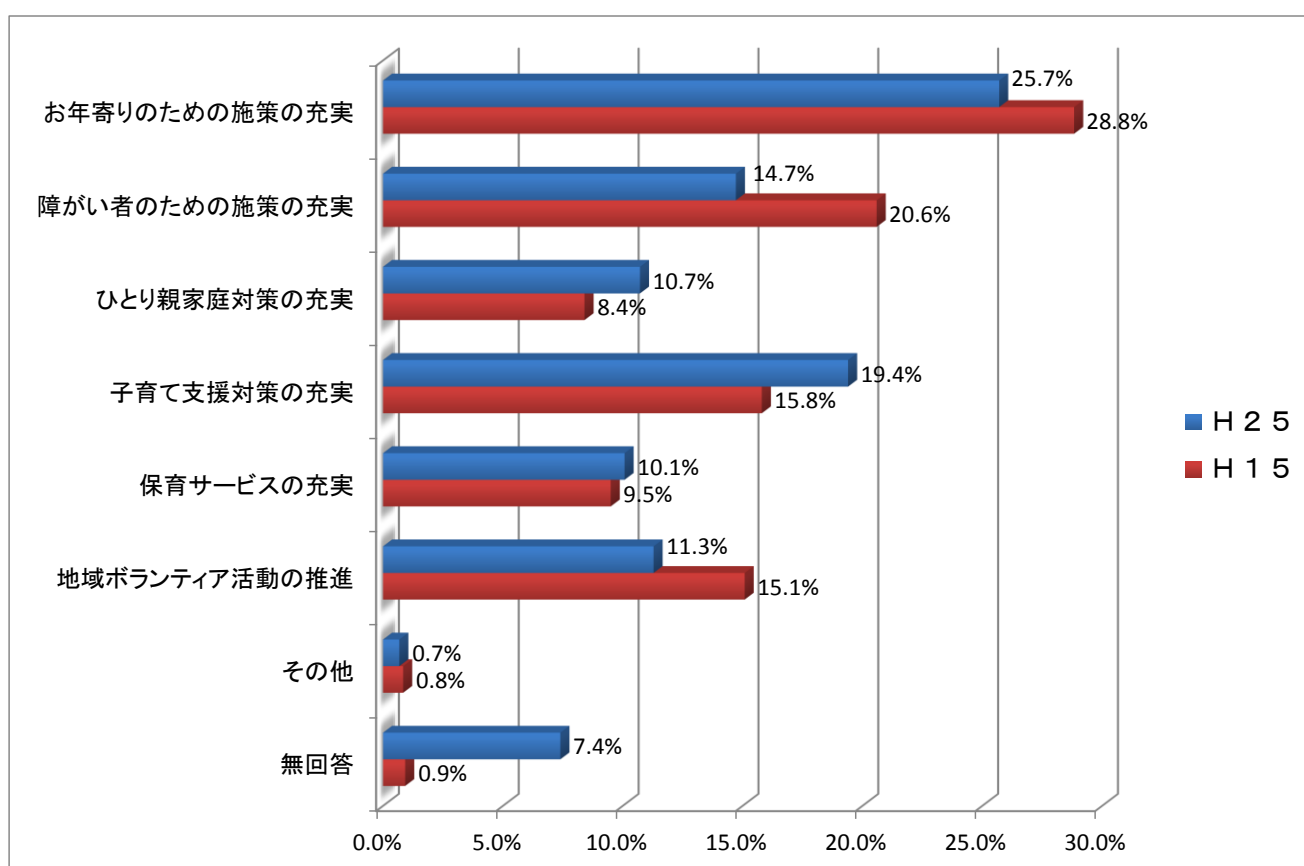
10年前と比較し、「医療・福祉面が充実したまち」、「産業が盛んなまち」との回答が多い結果に変化はなかった。

問8 あなたは、今後どのような政策を重点的に取り組むべきだと思いますか。

(1) 社会福祉について(3つ選択)

	総計		男性		女性		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
お年寄りのための施策の充実	681	25.7%	268	24.8%	391	26.6%	22	22.2%
障がい者のための施策の充実	390	14.7%	142	13.1%	239	16.3%	9	9.1%
ひとり親家庭対策の充実	284	10.7%	111	10.3%	160	10.9%	13	13.1%
子育て支援対策の充実	514	19.4%	229	21.2%	266	18.1%	19	19.2%
保育サービスの充実	267	10.1%	119	11.0%	141	9.6%	7	7.1%
地域ボランティア活動の推進	299	11.3%	115	10.6%	174	11.8%	10	10.1%
その他	18	0.7%	10	0.9%	8	0.5%		0.0%
無回答	196	7.4%	86	8.0%	91	6.2%	19	19.2%
合計	2,649	100.0%	1,080	100.0%	1,470	100.0%	99	100.0%

【図表7 新しい総合計画における重点事項について(社会福祉) 前回調査との比較】



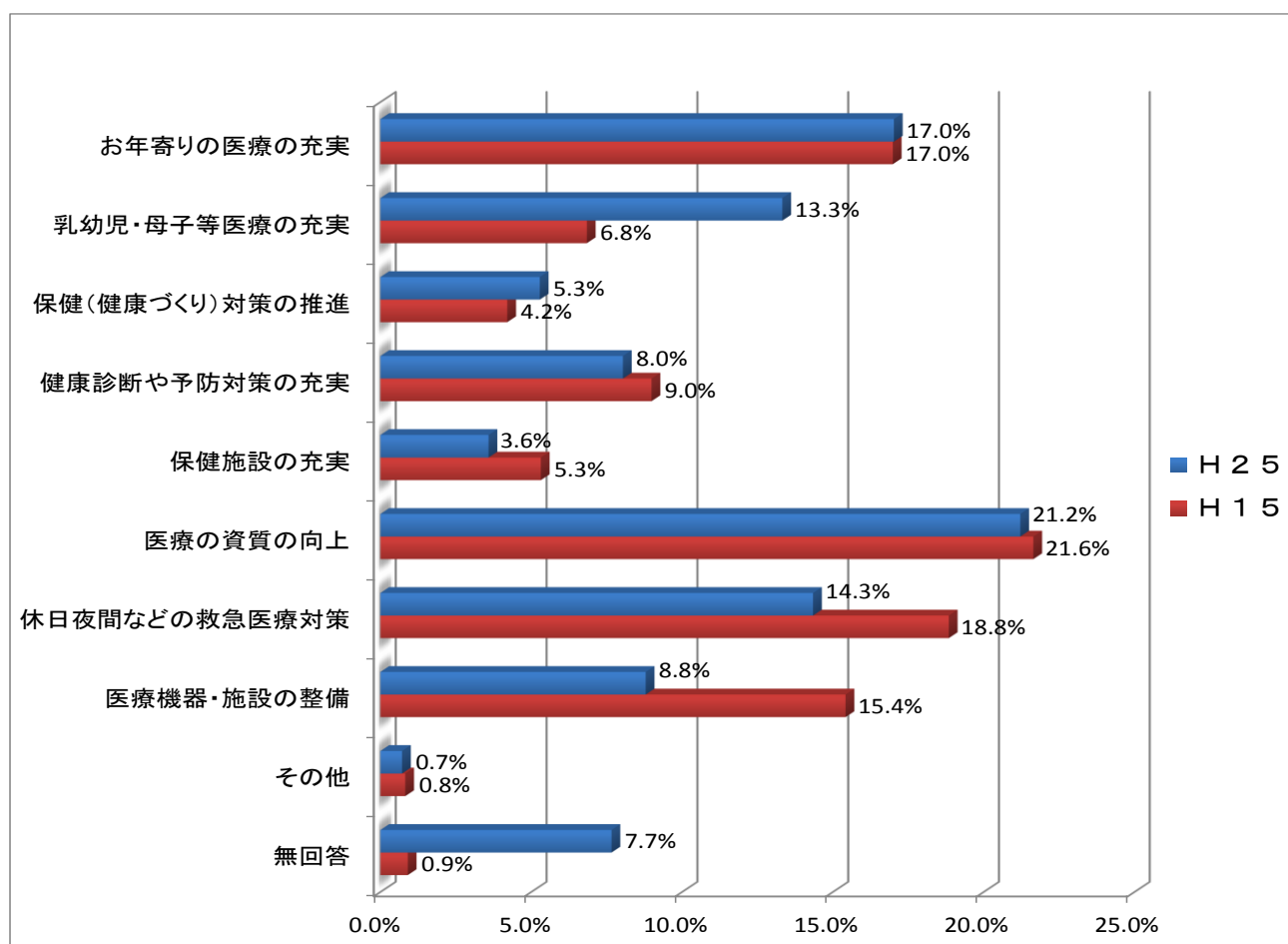
社会福祉について、今後どのような政策を重点的に取り組むべきかを尋ねたところ、「お年寄りのための施策の充実」が25.7%と最も多く、次に「子育て支援対策の充実」19.4%、「障害者のための施策の充実」14.7%となっている。

10年前と比較しても、上位の3項目に変動は見られないものの、「障がい者のための施策の充実」が5.9%も減少する中、「子育て支援対策の充実」や「保育サービスの充実」、「ひとり親家庭対策の充実」等の割合が増加しており、児童福祉の充実を求められていることが窺える。

(2) 保健医療について(3つ選択)

	総計		男性		女性		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
お年寄りの医療の充実	451	17.0%	185	17.1%	248	16.9%	18	18.2%
乳幼児・母子等医療の充実	353	13.3%	165	15.3%	173	11.8%	15	15.2%
保健(健康づくり)対策の推進	140	5.3%	49	4.5%	86	5.9%	5	5.1%
健康診断や予防対策の充実	213	8.0%	89	8.2%	119	8.1%	5	5.1%
保健施設の充実	95	3.6%	33	3.1%	58	3.9%	4	4.0%
医療の資質の向上	562	21.2%	232	21.5%	317	21.6%	13	13.1%
休日夜間などの救急医療対策	380	14.3%	145	13.4%	220	15.0%	15	15.2%
医療機器・施設の整備	233	8.8%	89	8.2%	139	9.5%	5	5.1%
その他	19	0.7%	7	0.6%	11	0.7%	1	1.0%
無回答	203	7.7%	86	8.0%	99	6.7%	18	18.2%
合計	2,649	100.0%	1,080	100.0%	1,470	100.0%	99	100.0%

【図表7 新しい総合計画における重点事項について(保健医療) 前回調査との比較】



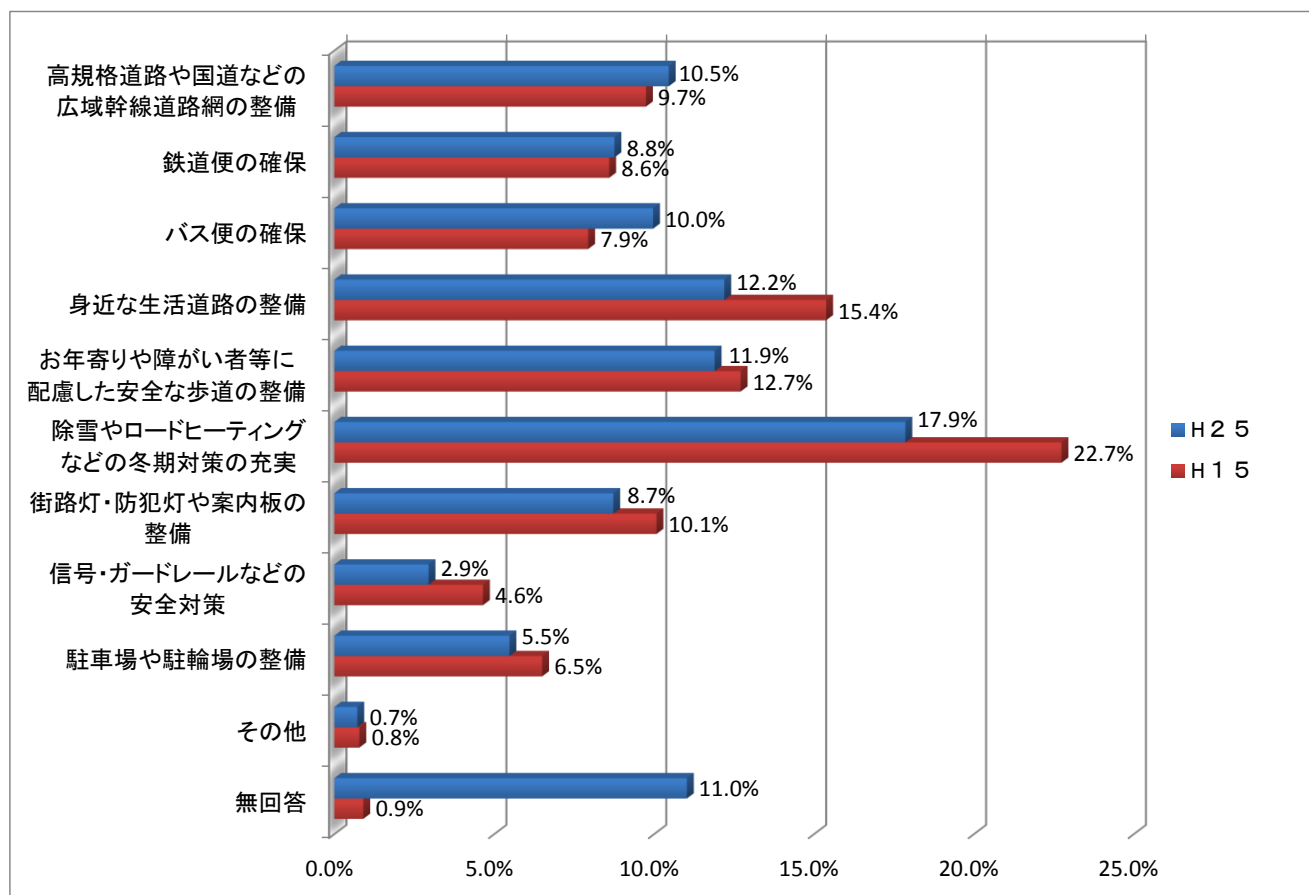
保健医療について、今後どのような政策を重点的に取り組むべきかを尋ねたところ、「医療の資質の向上」が21.2%と最も多く、次に「お年寄りの医療の充実」が17.0%、「休日夜間などの救急医療対策」14.3%となっている。

10年前と比較しても、上位3項目に変動はなかったものの、「乳幼児・母子等医療の充実」が前回より約2倍の13.3%と「社会福祉について」と同様に児童福祉、子育て支援に関する施策の充実を求める傾向が窺える。

(3) 道路交通について(3つ選択)

	総計		男性		女性		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
高規格道路や国道などの 広域幹線道路網の整備	277	10.5%	167	15.5%	103	7.0%	7	7.1%
鉄道便の確保	232	8.8%	87	8.1%	141	9.6%	4	4.0%
バス便の確保	264	10.0%	92	8.5%	159	10.8%	13	13.1%
身近な生活道路の整備	323	12.2%	144	13.3%	168	11.4%	11	11.1%
お年寄りや障がい者等に 配慮した安全な歩道の整備	315	11.9%	113	10.5%	188	12.8%	14	14.1%
除雪やロードヒーティング などの冬期対策の充実	473	17.9%	184	17.0%	278	18.9%	11	11.1%
街路灯・防犯灯や案内板の 整備	231	8.7%	96	8.9%	130	8.8%	5	5.1%
信号・ガードレールなどの 安全対策	78	2.9%	28	2.6%	46	3.1%	4	4.0%
駐車場や駐輪場の整備	145	5.5%	55	5.1%	87	5.9%	3	3.0%
その他	19	0.7%	10	0.9%	9	0.6%	0	0.0%
無回答	292	11.0%	104	9.6%	161	11.0%	27	27.3%
合計	2,649	100.0%	1,080	100.0%	1,470	100.0%	99	100.0%

【図表8 新しい総合計画における重点事項について(道路交通) 前回調査との比較】



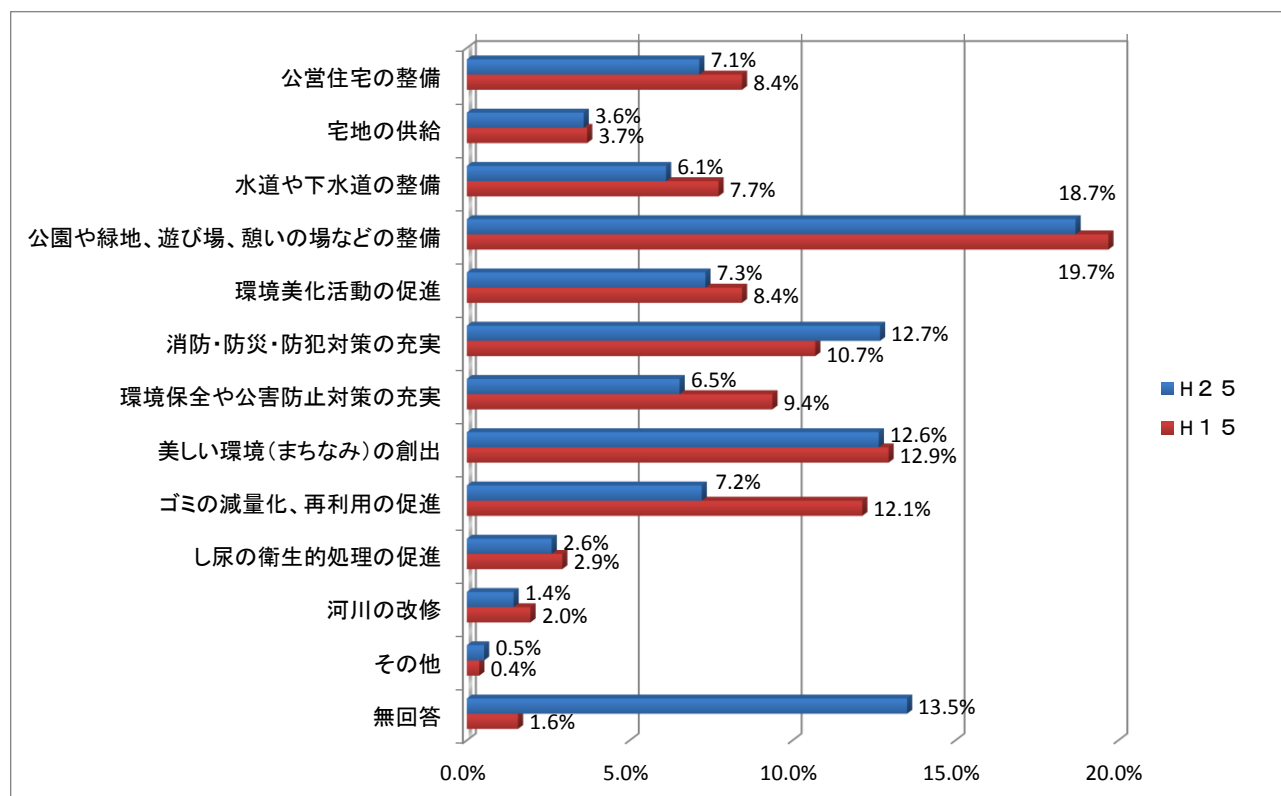
道路交通について、今後どのような政策を重点的に取り組むべきかを尋ねたところ、「除雪やロードヒーティングなどの冬期対策の充実」が17.9%と最も多く、次に「身近な生活道路の整備」が12.2%、「お年寄りや障がい者等に配慮した安全な歩道の整備」が11.9%となっている。

10年前と比較しても、上位3項目に変動は無いが、高齢社会を反映してか「バス便の確保」が前回より2.1%も増加しており、バス交通の充実を求めていることが窺える。

(4) 生活環境について(3つ選択)

	総計		男性		女性		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
公営住宅の整備	189	7.1%	74	6.9%	111	7.6%	4	4.0%
宅地の供給	95	3.6%	46	4.3%	45	3.1%	4	4.0%
水道や下水道の整備	162	6.1%	61	5.7%	90	6.1%	11	11.1%
公園や緑地、遊び場、憩いの場などの整備	495	18.7%	205	19.0%	281	19.1%	9	9.1%
環境美化活動の促進	194	7.3%	85	7.9%	104	7.1%	5	5.1%
消防・防災・防犯対策の充実	336	12.7%	144	13.3%	184	12.5%	8	8.1%
環境保全や公害防止対策の充実	173	6.5%	73	6.8%	94	6.4%	6	6.1%
美しい環境(まちなみ)の創出	335	12.6%	148	13.7%	175	11.9%	12	12.1%
ゴミの減量化、再利用の促進	191	7.2%	65	6.0%	122	8.3%	4	4.0%
し尿の衛生的処理の促進	69	2.6%	30	2.8%	37	2.5%	2	2.0%
河川の改修	38	1.4%	19	1.8%	17	1.2%	2	2.0%
その他	14	0.5%	6	0.6%	8	0.5%	0	0.0%
無回答	358	13.5%	123	11.4%	202	13.7%	32	32.3%
合計	2,649	100.0%	1,079	100.0%	1,470	100.0%	99	100.0%

【図表9 新しい総合計画における重点事項について(生活環境) 前回調査との比較】



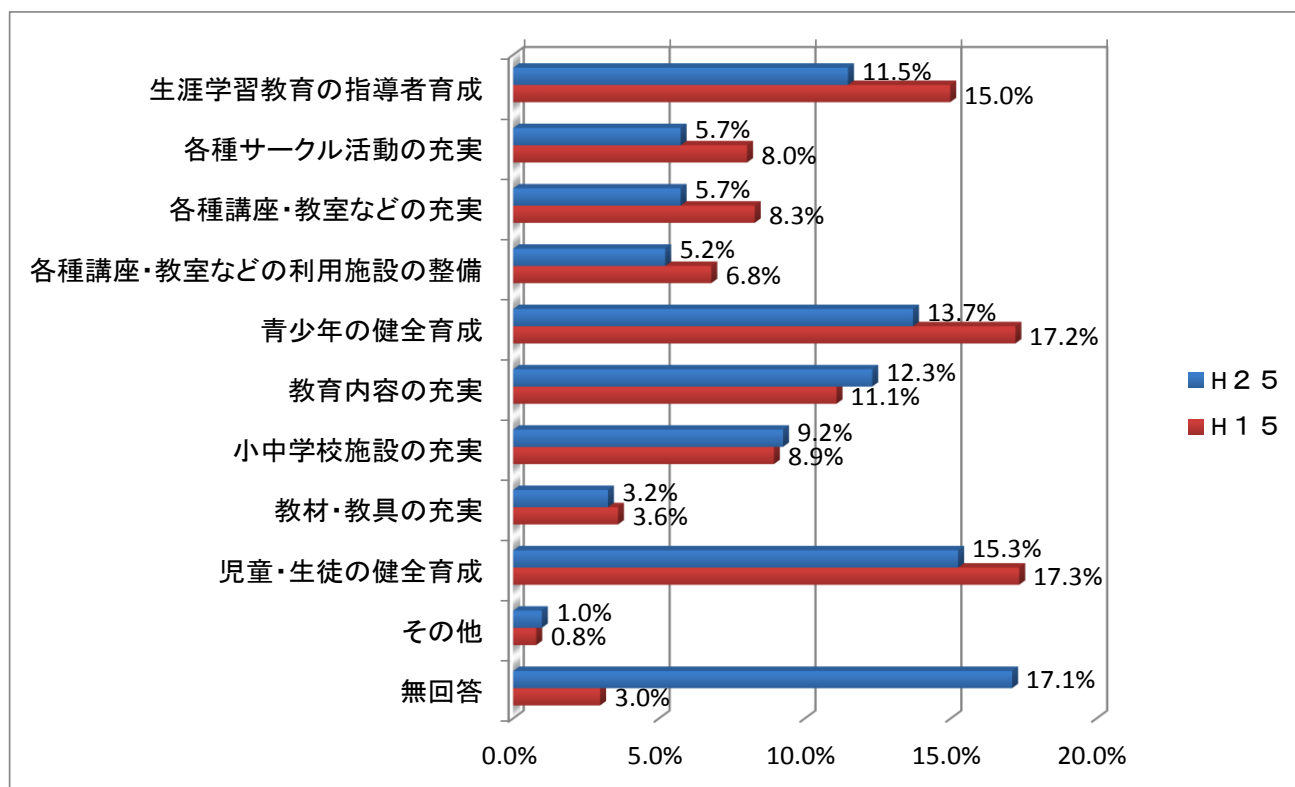
生活環境について、今後どのような政策を重点的に取り組むべきかを尋ねたところ、「公園や緑地、遊び場、憩いの場等の整備」が18.7%、次に「消防・防災・防犯対策の充実」で12.7%、「美しい環境(まちなみ)の創出」が12.6%と続いている。

10年前と比較すると、「ゴミの減量化、再利用の促進」が7.2%と約4割も減少し、資源循環型社会の形成について一定の満足度が得られていると推測される。一方、前回調査において上位3項目にはなかった「消防・防災・防犯対策の充実」が増加しており、災害に強いまちづくりを求められている事が窺える。

(5) 学校教育・社会教育について(3つ選択)

	総計		男性		女性		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
生涯学習教育の指導者育成	304	11.5%	135	12.5%	158	10.7%	11	11.1%
各種サークル活動の充実	152	5.7%	61	5.6%	88	6.0%	3	3.0%
各種講座・教室などの充実	152	5.7%	52	4.8%	97	6.6%	3	3.0%
各種講座・教室などの利用施設の整備	138	5.2%	58	5.4%	78	5.3%	2	2.0%
青少年の健全育成	363	13.7%	167	15.5%	186	12.7%	10	10.1%
教育内容の充実	326	12.3%	136	12.6%	182	12.4%	8	8.1%
小中学校施設の充実	245	9.2%	109	10.1%	128	8.7%	8	8.1%
教材・教具の充実	86	3.2%	34	3.1%	49	3.3%	3	3.0%
児童・生徒の健全育成	404	15.3%	167	15.5%	225	15.3%	12	12.1%
その他	26	1.0%	16	1.5%	10	0.7%	0	0.0%
無回答	453	17.1%	145	13.4%	269	18.3%	39	39.4%
合計	2,649	100.0%	1,080	100.0%	1,470	100.0%	99	100.0%

【図表10 新しい総合計画における重点事項について(学校教育・社会教育) 前回調査との比較】



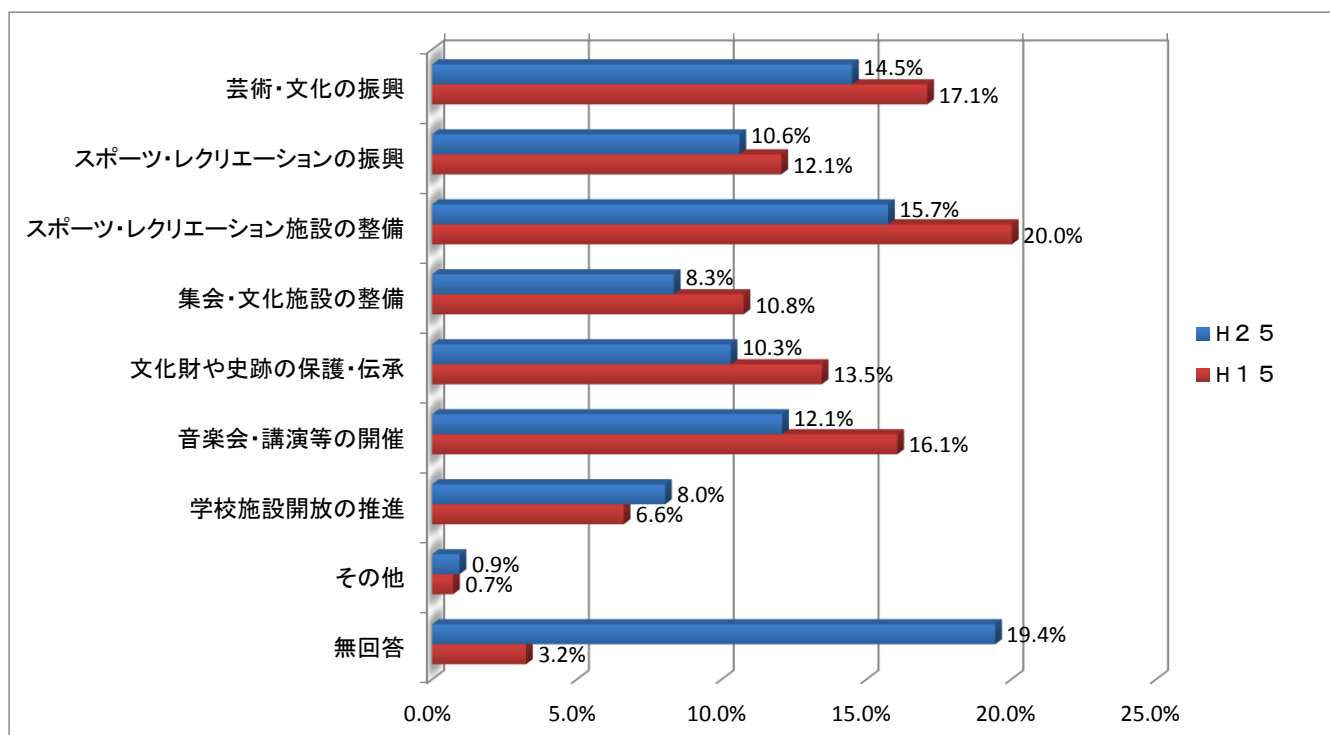
学校教育・社会教育について、今後どのような政策を重点的に取り組むべきかを尋ねたところ、「児童・生徒の健全育成」が15.3%、次に「青少年の健全育成」で13.7%、「生涯学習教育の指導者育成」が11.5%と続いている。

10年前と比較しても、上位3項目に変動は無かった。前回調査時から増加した項目としては、「教育内容の充実」、「小中学校施設の充実」が挙げられる。

(6) スポーツ・レクリエーション・文化について(3つ選択)

	総計		男性		女性		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
芸術・文化の振興	384	14.5%	148	13.7%	226	15.4%	10	10.1%
スポーツ・レクリエーションの振興	281	10.6%	141	13.1%	133	9.0%	7	7.1%
スポーツ・レクリエーション施設の整備	417	15.7%	187	17.3%	216	14.7%	14	14.1%
集会・文化施設の整備	221	8.3%	93	8.6%	125	8.5%	3	3.0%
文化財や史跡の保護・伝承	273	10.3%	120	11.1%	147	10.0%	6	6.1%
音楽会・講演等の開催	320	12.1%	117	10.8%	196	13.3%	7	7.1%
学校施設開放の推進	213	8.0%	86	8.0%	120	8.2%	7	7.1%
その他	25	0.9%	14	1.3%	10	0.7%	1	1.0%
無回答	515	19.4%	174	16.1%	297	20.2%	44	44.4%
合計	2,649	100.0%	1,080	100.0%	1,470	100.0%	99	100.0%

【図表11 新しい総合計画における重点事項について(スポーツ・レクリエーション・文化) 前回調査との比較】



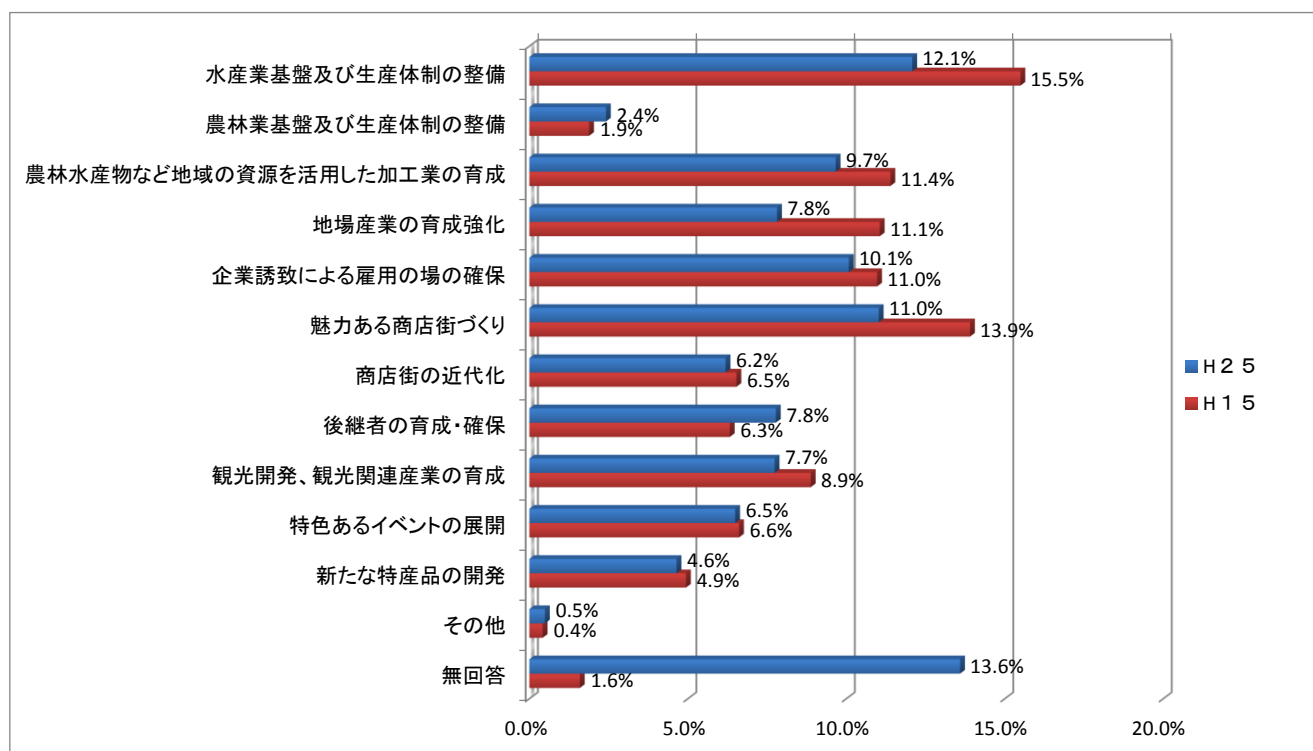
スポーツ・レクリエーションについて、今後どのような政策を重点的に取り組むべきかを尋ねたところ、「スポーツ・レクリエーション施設の整備」が15.7%、次に「芸術・文化の振興」で14.5%、「音楽会・講演等の開催」が12.1%と続いている。

10年前と比較しても、上位3項目に変動は無かった。前回調査時から増加した項目としては、「学校施設開放の推進」のみとなった。

(7)産業の振興について(3つ選択)

	総計		男性		女性		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
水産業基盤及び生産体制の整備	320	12.1%	153	14.2%	159	10.8%	8	8.1%
農林業基盤及び生産体制の整備	64	2.4%	30	2.8%	31	2.1%	3	3.0%
農林水産物など地域の資源を活用した加工業の育成	256	9.7%	119	11.0%	130	8.8%	7	7.1%
地場産業の育成強化	207	7.8%	84	7.8%	116	7.9%	7	7.1%
企業誘致による雇用の場の確保	267	10.1%	103	9.5%	155	10.5%	9	9.1%
魅力ある商店街づくり	292	11.0%	97	9.0%	189	12.9%	6	6.1%
商店街の近代化	164	6.2%	63	5.8%	98	6.7%	3	3.0%
後継者の育成・確保	206	7.8%	91	8.4%	103	7.0%	12	12.1%
観光開発、観光関連産業の育成	205	7.7%	90	8.3%	112	7.6%	3	3.0%
特色あるイベントの展開	172	6.5%	73	6.8%	98	6.7%	1	1.0%
新たな特産品の開発	123	4.6%	47	4.4%	74	5.0%	2	2.0%
その他	13	0.5%	9	0.8%	4	0.3%	0	0.0%
無回答	360	13.6%	121	11.2%	201	13.7%	38	38.4%
合計	2,649	100.0%	1,080	100.0%	1,470	100.0%	99	100.0%

【図表12 新しい総合計画における重点事項について(産業の振興) 前回調査との比較】



産業の振興について、今後どのような政策を重点的に取り組むべきかを尋ねたところ、「水産業基盤及び生産体制の整備」が12.1%、次に「魅力ある商店街づくり」で11.0%、「企業誘致による雇用の場の確保」が10.1%と続いている。

10年前と比較しても、上位2項目に変動はなかった。多くの項目が減少する中、「後継者の育成・確保」については、1.5%増加しており、後継者対策の重要性の認識が更に高まったことが窺い知れる。

問9 あなたは行政からの情報提供において、どのような情報を受けたいと考えていますか。(2つ選択)

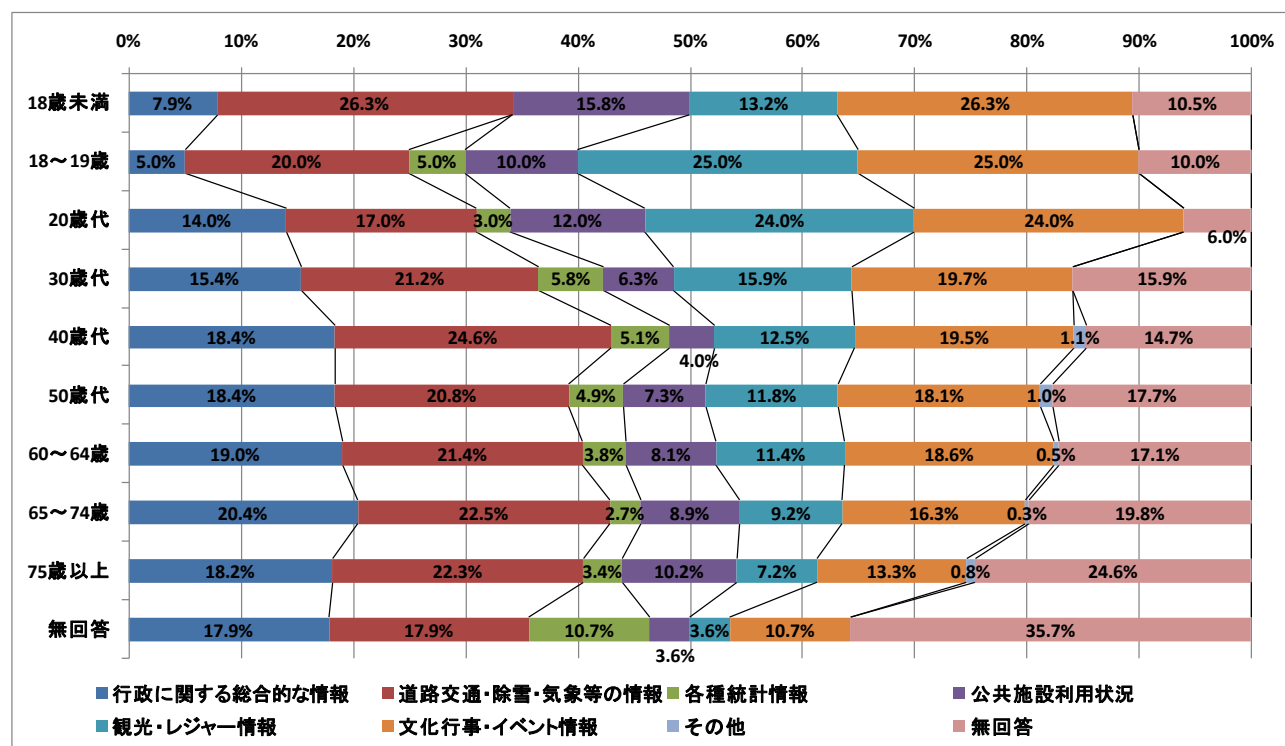
行政からどのような情報提供を受けたいかを尋ねたところ、「道路交通・除雪・気象等の情報」が21.9%と最も多く、次に「文化行事・イベント情報」で18.0%、「行政に関する総合的な情報」が17.8%となっている。

男女別では、上位3項目は変わらなかったものの、男性は「行政に関する総合的な情報」を、女性は「文化行事・イベント情報」の割合が高い結果となっている。

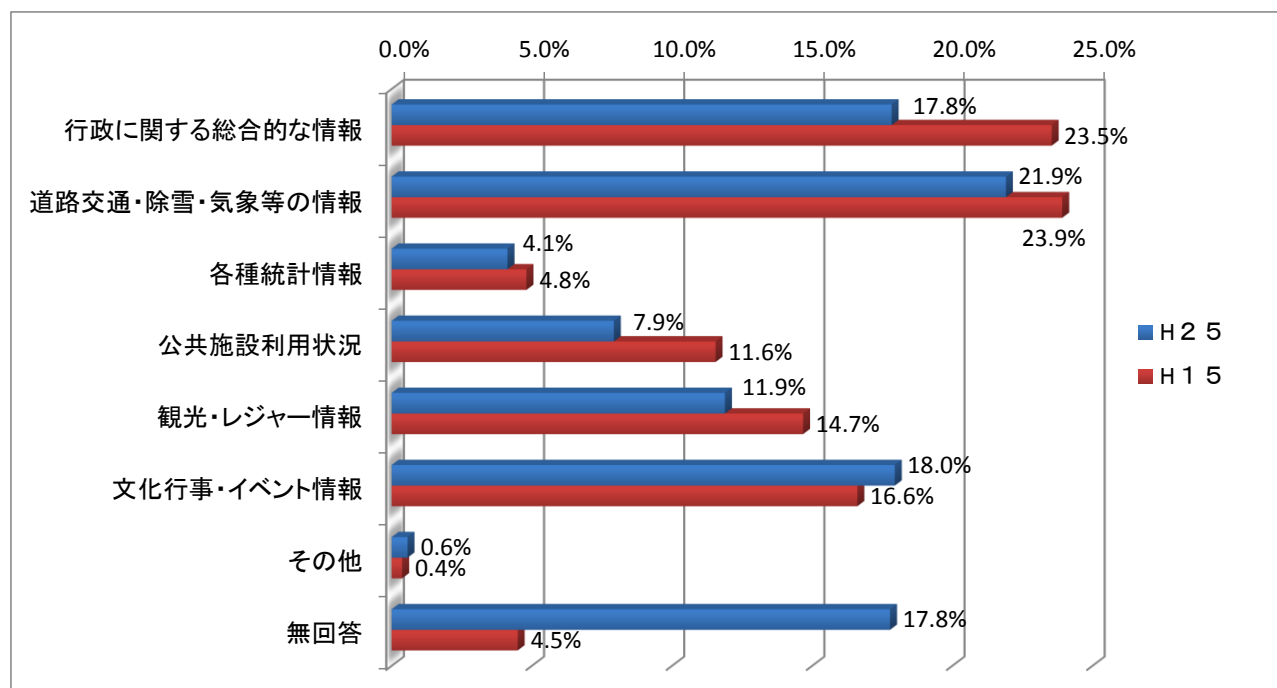
	総計		男性		女性		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
行政に関する総合的な情報	315	17.8%	146	20.3%	161	16.4%	8	12.1%
道路交通・除雪・気象等の情報	387	21.9%	150	20.8%	225	23.0%	12	18.2%
各種統計情報	73	4.1%	39	5.4%	30	3.1%	4	6.1%
公共施設利用状況	140	7.9%	62	8.6%	74	7.6%	4	6.1%
観光・レジャー情報	210	11.9%	84	11.7%	120	12.2%	6	9.1%
文化行事・イベント情報	317	18.0%	118	16.4%	193	19.7%	6	9.1%
その他	10	0.6%	5	0.7%	5	0.5%	0	0.0%
無回答	314	17.8%	116	16.1%	172	17.6%	26	39.4%
合計	1,766	100.0%	720	100.0%	980	100.0%	66	100.0%

問9の回答における年代別の構成比

問9の年代別の回答構成比については、年齢層が上がるにつれ「行政に関する総合的な情報」の割合が高まりを見せる一方で、「観光・レジャー情報」や「文化行事・イベント情報」を求める割合が徐々に減少する傾向が見られる結果となっている。



【図表13 情報の共有化について 前回調査との比較】



情報の共有化について、10年前と比較しても、上位3項目に変動は無かった。多くの項目が減少する中、唯一「文化行事・イベント情報」についてのみ増加する結果となっている。

問10 あなたは、「少子化対策」、「地域の子育て支援」として、どのような施策が重要だと思いますか。
(3つ選択)

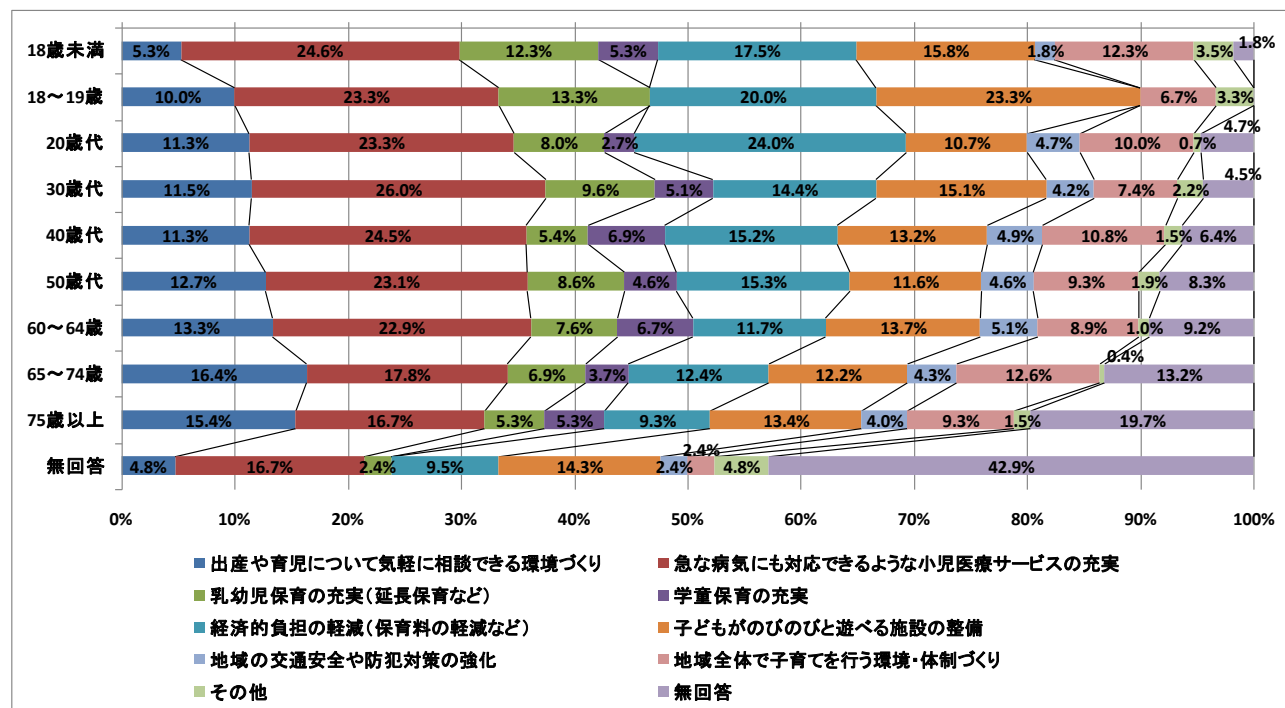
少子化・子育て支援について、どのような施策が重要かを尋ねたところ、「急な病気にも対応できるような小児医療サービスの充実」が21.6%と最も多く、次に「経済的負担の軽減(保育料の軽減など)」で13.8%、「出産や育児について気軽に相談できる環境づくり」と「子どもがのびのびと遊べる施設の整備」がともに13.1%と続いている。

男女別では、男性が「経済的負担の軽減(保育料の軽減など)」が重要と考えている人の割合が高いのに対し、女性では「子どもがのびのびと遊べる施設の整備」が重要と考えている人の割合が高い結果となっている。

	総計		男性		女性		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
出産や育児について気軽に相談できる環境づくり	348	13.1%	148	13.7%	190	12.9%	10	10.1%
急な病気にも対応できるような小児医療サービスの充実	572	21.6%	247	22.9%	308	21.0%	17	17.2%
乳幼児保育の充実(延長保育など)	193	7.3%	81	7.5%	107	7.3%	5	5.1%
学童保育の充実	132	5.0%	43	4.0%	89	6.1%	0	0.0%
経済的負担の軽減(保育料の軽減など)	366	13.8%	162	15.0%	187	12.7%	17	17.2%
子どもがのびのびと遊べる施設の整備	347	13.1%	143	13.2%	195	13.3%	9	9.1%
地域の交通安全や防犯対策の強化	116	4.4%	45	4.2%	69	4.7%	2	2.0%
地域全体で子育てを行う環境・体制づくり	261	9.9%	112	10.4%	141	9.6%	8	8.1%
その他	38	1.4%	17	1.6%	21	1.4%	0	0.0%
無回答	276	10.4%	82	7.6%	163	11.1%	31	31.3%
合計	2,649	100.0%	1,080	100.0%	1,470	100.0%	99	100.0%

問10の回答における年代別の構成比

問10の年代別の回答構成比を見ていても、上位3項目は概ね同様の結果となっている。



問11 あなたは、「学校教育」を充実させるために、市がどのようなことに力を注ぐべきだと思いますか。
(3つ選択)

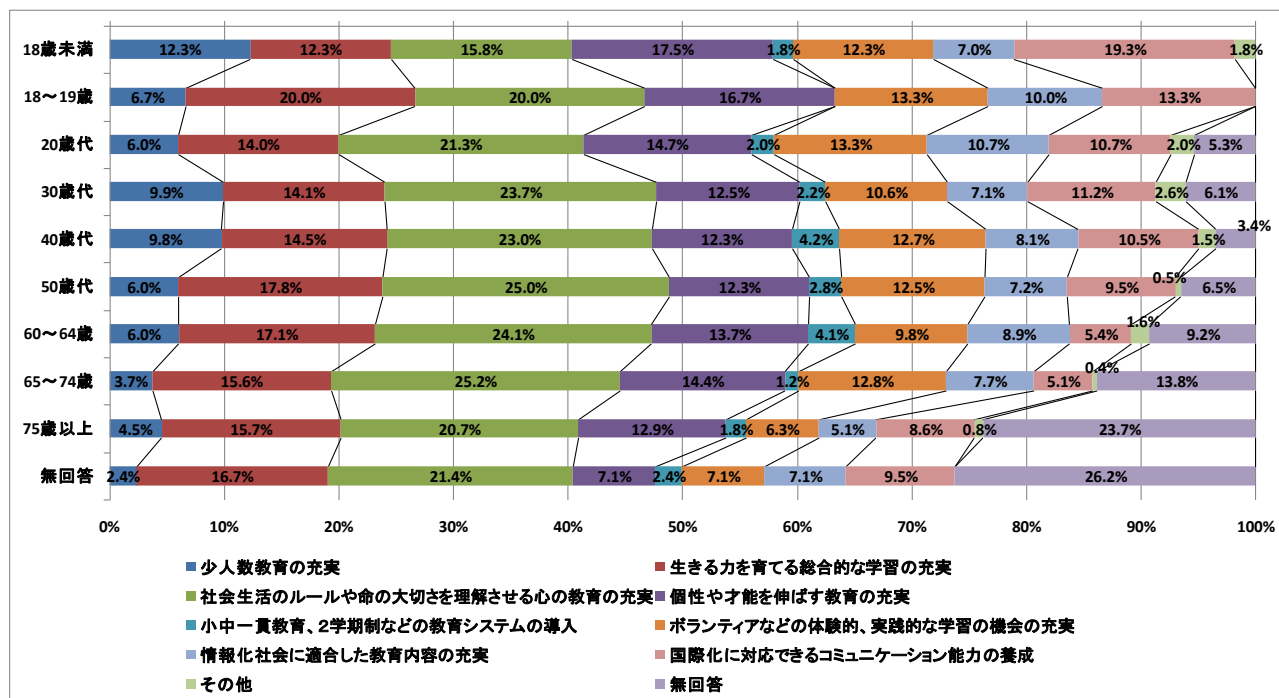
学校教育について、今後どのような施策に力を注ぐべきかを尋ねたところ、「社会生活のルールや命の大切さを理解させる心の教育の充実」が23.3%と最も多く、次に「生きる力を育てる総合的な学習の充実」で15.7%、「個性や才能を伸ばす教育の充実」が13.2%と続いている。

男女別の傾向をみても、上位3項目は同様の結果となっている。

	総計		男性		女性		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
少人数教育の充実	172	6.5%	66	6.1%	100	6.8%	6	6.1%
生きる力を育てる総合的な学習の充実	416	15.7%	166	15.4%	241	16.4%	9	9.1%
社会生活のルールや命の大切さを理解させる心の教育の充実	618	23.3%	242	22.4%	355	24.1%	21	21.2%
個性や才能を伸ばす教育の充実	349	13.2%	145	13.4%	191	13.0%	13	13.1%
小中一貫教育、2学期制などの教育システムの導入	67	2.5%	32	3.0%	30	2.0%	5	5.1%
ボランティアなどの体験的、実践的な学習の機会の充実	294	11.1%	114	10.6%	174	11.8%	6	6.1%
情報化社会に適した教育内容の充実	199	7.5%	90	8.3%	103	7.0%	6	6.1%
国際化に対応できるコミュニケーション能力の養成	231	8.7%	94	8.7%	128	8.7%	9	9.1%
その他	30	1.1%	19	1.8%	11	0.7%	0	0.0%
無回答	273	10.3%	112	10.4%	137	9.3%	24	24.2%
合計	2,649	100.0%	1,080	100.0%	1,470	100.0%	99	100.0%

問11の回答における年代別の構成比

問11の年代別の回答構成比を見ても、上位3項目は概ね同様の結果であるが、18歳未満では、「国際化に対応できるコミュニケーション能力の養成」に力を注ぐべきとの回答が19.3%を占め、他の年代との違いが浮き彫りになった。



問12 あなたは、お年寄りが健康で生きがいを持ち、充実した老後を送るためには、どのような対策が必要だと思いますか。(3つ選択)

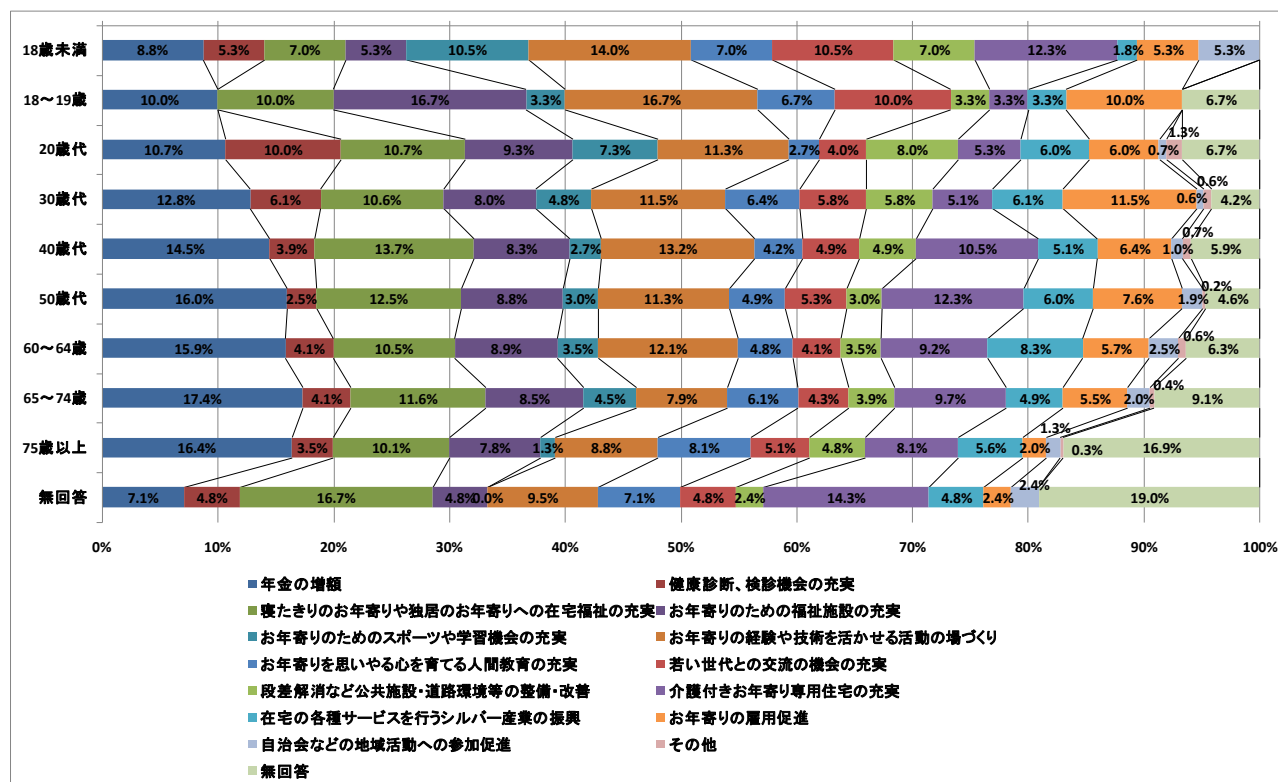
高齢者支援について、今後どのような対策が必要かを尋ねたところ、「年金の増額」が15.0%と最も多く、次に「寝たきりのお年寄りや独居のお年寄りへの在宅福祉の充実」で11.5%、「お年寄りの経験や技術を活かせる活躍の場づくり」が10.8%と続いている。

男女別の傾向を見てみると、上位3項目は同様の結果となっているが、男性では「お年寄りのための福祉施設の充実」、女性では「介護付きお年寄り専用住宅の充実」が必要との回答が多い結果となった。

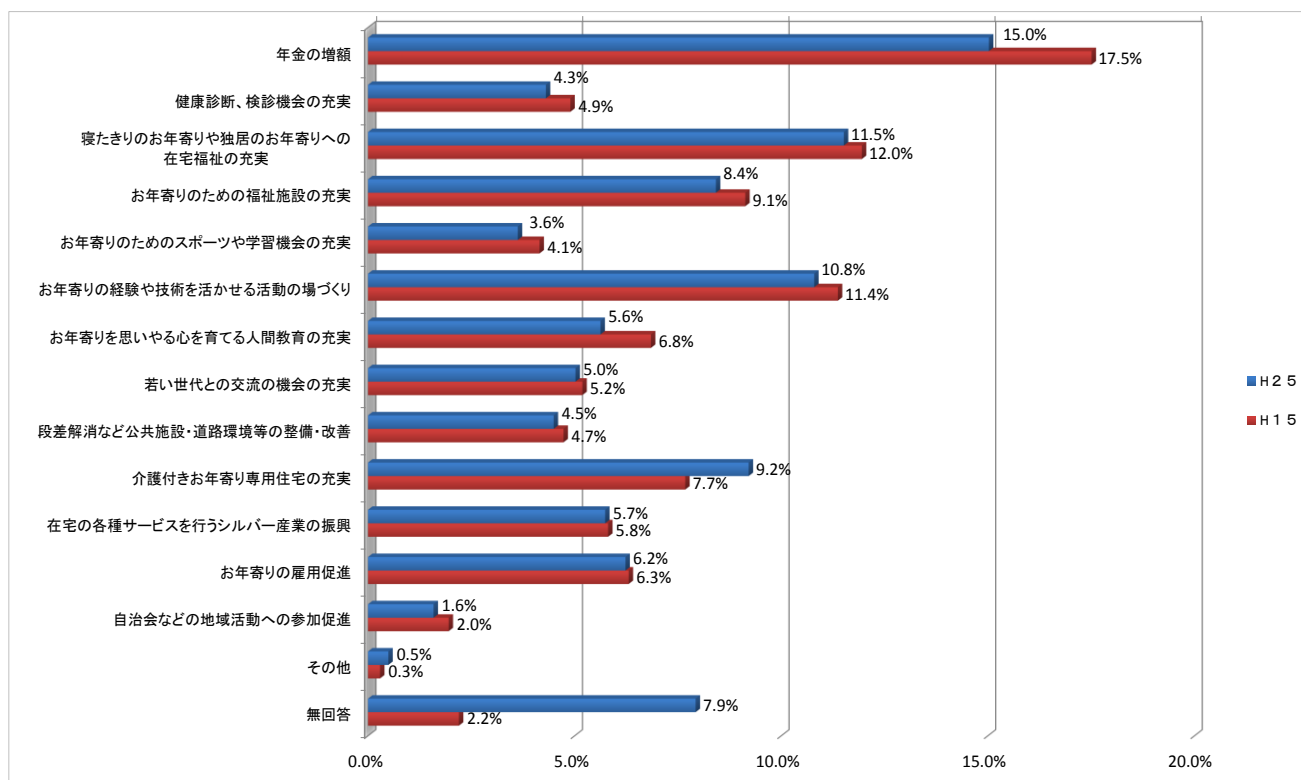
	総計		男性		女性		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
年金の増額	398	15.0%	165	15.3%	222	15.1%	11	11.1%
健康診断、検診機会の充実	114	4.3%	56	5.2%	54	3.7%	4	4.0%
寝たきりのお年寄りや独居のお年寄りへの在宅福祉の充実	305	11.5%	112	10.4%	182	12.4%	11	11.1%
お年寄りのための福祉施設の充実	223	8.4%	101	9.4%	111	7.6%	11	11.1%
お年寄りのためのスポーツや学習機会の充実	96	3.6%	50	4.6%	46	3.1%	0	0.0%
お年寄りの経験や技術を活かせる活動の場づくり	286	10.8%	114	10.6%	165	11.2%	7	7.1%
お年寄りを思いやる心を育てる人間教育の充実	149	5.6%	69	6.4%	72	4.9%	8	8.1%
若い世代との交流の機会の充実	133	5.0%	51	4.7%	73	5.0%	9	9.1%
段差解消など公共施設・道路環境等の整備・改善	119	4.5%	38	3.5%	78	5.3%	3	3.0%
介護付きお年寄り専用住宅の充実	244	9.2%	78	7.2%	156	10.6%	10	10.1%
在宅の各種サービスを行うシルバー産業の振興	152	5.7%	63	5.8%	82	5.6%	7	7.1%
お年寄りの雇用促進	165	6.2%	67	6.2%	94	6.4%	4	4.0%
自治会などの地域活動への参加促進	42	1.6%	22	2.0%	20	1.4%	0	0.0%
その他	13	0.5%	8	0.7%	5	0.3%	0	0.0%
無回答	210	7.9%	86	8.0%	110	7.5%	14	14.1%
合計	2,649	100.0%	1,080	100.0%	1,470	100.0%	99	100.0%

問12の回答における年代別の構成比

問12の年代別の回答構成比を見てみると、高齢者層(60歳以上世代)に加え、中高年層(30歳代～50歳代)においても「年金の増額」が一番多い結果となっている。



【図表14 高齢者支援について 前回調査との比較】



高齢者支援について必要だと思う対策について10年前と比較しても、上位3項目に変動は無かった。

また、多くの項目が減少する中、唯一「介護付きお年寄り専用住宅の充実」についてのみ増加する結果となっている。

問13 あなたは「防災対策」として何が重要だと考えますか。(3つ選択)

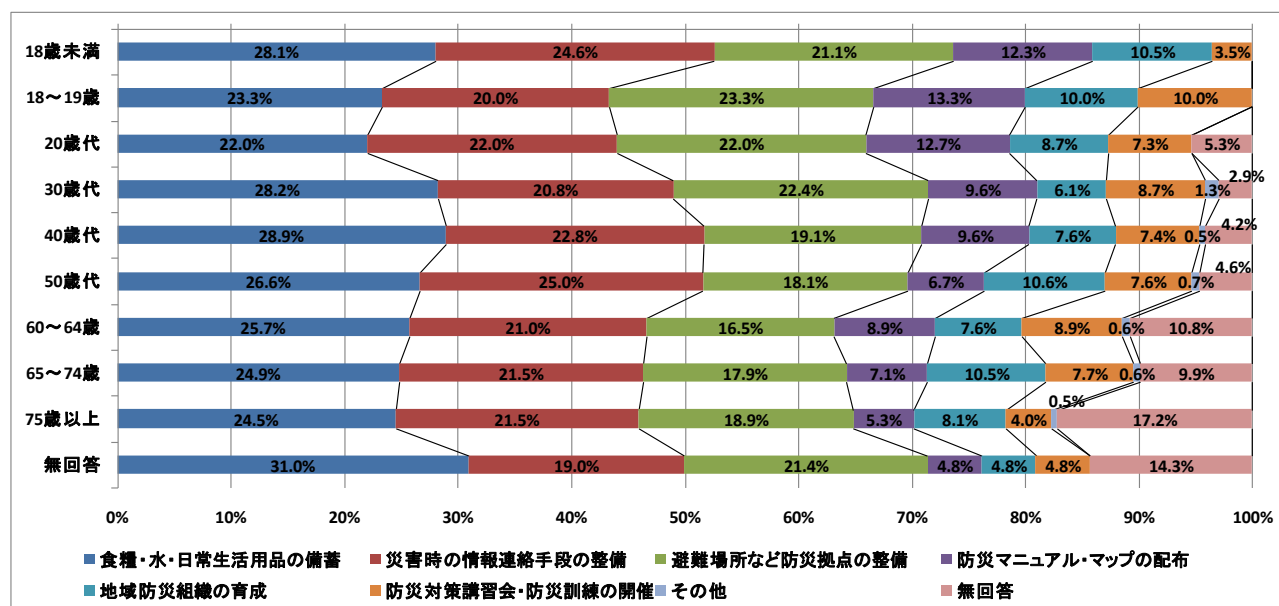
防災・減災対策について、今後どのような対策が重要かを尋ねたところ、「食料・水・日常生活用品の備蓄」が26.2%と最も多く、次に「災害時の情報連絡手段の整備」で22.2%、「避難場所など防災拠点の整備」が19.1%と続いている。

男女別の傾向を見てみると、上位3項目は同様の結果となっているが、男性では「地域防災組織の育成」が必要と回答する人が女性に比べ多い結果となっている。

	総計		男性		女性		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
食糧・水・日常生活用品の備蓄	694	26.2%	276	25.6%	393	26.7%	25	25.3%
災害時の情報連絡手段の整備	587	22.2%	219	20.3%	346	23.5%	22	22.2%
避難場所など防災拠点の整備	505	19.1%	206	19.1%	277	18.8%	22	22.2%
防災マニュアル・マップの配布	215	8.1%	90	8.3%	122	8.3%	3	3.0%
地域防災組織の育成	229	8.6%	110	10.2%	113	7.7%	6	6.1%
防災対策講習会・防災訓練の開催	191	7.2%	85	7.9%	102	6.9%	4	4.0%
その他	16	0.6%	7	0.6%	9	0.6%	0	0.0%
無回答	212	8.0%	87	8.1%	108	7.3%	17	17.2%
合計	2,649	100.0%	1,080	100.0%	1,470	100.0%	99	100.0%

問13の回答における年代別の構成比

問13の年代別の回答構成比を見てみても、上位3項目は同様の結果となっている。



問14 みなさんの一人ひとりが「誰もが何か1つを受け持つ」とすれば、あなたは、どのような活動に参加しますか。(1つ選択)

市民協働について、どのような活動に参加をしたいのかを尋ねたところ、「清掃活動や花いっぱい運動」が21.5%と最も多く、次「祭り、文化祭、運動会など市や地域の行事」で10.5%、「お年寄りや障がい者等のためのボランティア活動」が10.4%と続いている。

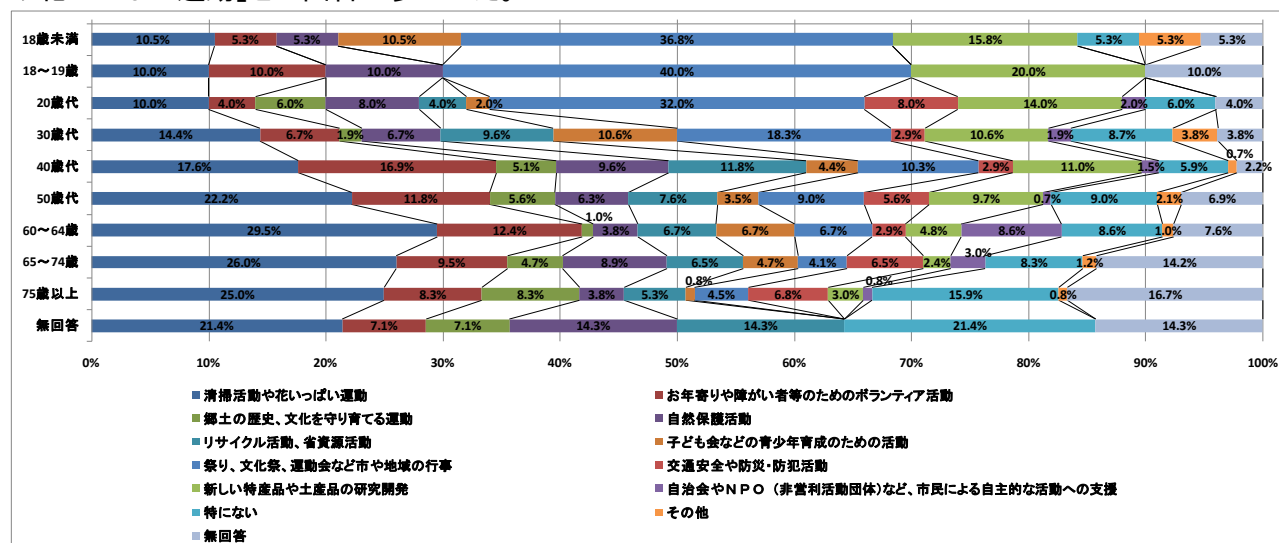
男女別の傾向を見てみると、男性、女性ともに「清掃活動や花いっぱい運動」が1位となっているが、2位以下については、男性の2位は「祭り、文化祭、運動会など市や地域の行事」で13.3%、3位が「自然保護活動」で10.3%であるのに対し、女性の2位は、「お年寄りや障がい者等のためのボランティア活動」が13.5%、3位が「祭り、文化祭、運動会など市や地域の行事」で9.0%と回答が分かれる結果となった。

選択項目	総計		男性		女性		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
清掃活動や花いっぱい運動	190	21.5%	55	15.3%	130	26.5%	5	15.2%
お年寄りや障がい者等のためのボランティア活動	92	10.4%	23	6.4%	66	13.5%	3	9.1%
郷土の歴史、文化を守り育てる運動	41	4.6%	18	5.0%	21	4.3%	2	6.1%
自然保護活動	61	6.9%	37	10.3%	22	4.5%	2	6.1%
リサイクル活動、省資源活動	66	7.5%	23	6.4%	41	8.4%	2	6.1%
子ども会などの青少年育成のための活動	41	4.6%	17	4.7%	24	4.9%	0	0.0%
祭り、文化祭、運動会など市や地域の行事	93	10.5%	48	13.3%	44	9.0%	1	3.0%
交通安全や防災・防犯活動	42	4.8%	27	7.5%	14	2.9%	1	3.0%
新しい特産品や土産品の研究開発	65	7.4%	33	9.2%	32	6.5%	0	0.0%
自治会やNPO(非営利活動団体)など、市民による自主的な活動への支援	21	2.4%	11	3.1%	9	1.8%	1	3.0%
特にない	81	9.2%	27	7.5%	43	8.8%	11	33.3%
その他	13	1.5%	8	2.2%	5	1.0%	0	0.0%
無回答	77	8.7%	33	9.2%	39	8.0%	5	15.2%
合計	883	100.0%	360	100.0%	490	100.0%	33	100.0%

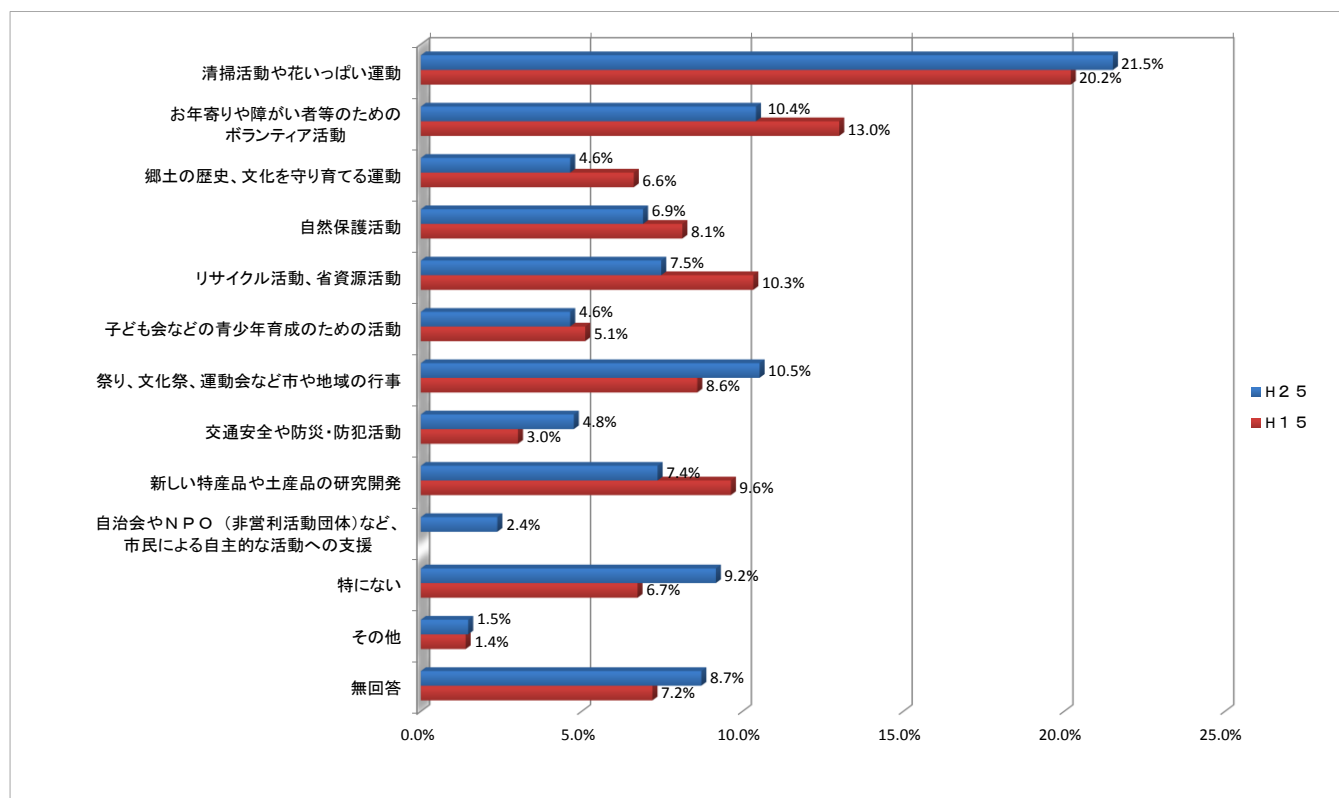
問14の回答における年代別の構成比

問14の年代別の回答構成比を見てみると、若年層(20歳代以下)の3割以上が、「祭り、文化祭、運動会など市や地域の行事」に参加したいと考えており、年齢層が上がるにつれ減少する結果となっている。

一方で、中高年層(30歳代～50歳代)から高齢者層(60歳以上)と年齢層が上がるにつれ「清掃活動や花いっぱい運動」との回答が多かった。



【図表15 市民協働について 前回調査との比較】



どのような市民協働活動に参加したいかについて10年前と比較すると、1位は「清掃活動や花いっぱい運動」となっており、変動はなかった。2位以下については、平成15年は「お年寄りや障がい者等のためのボランティア活動」が13.0%、「リサイクル活動・省資源活動」が10.3%の順であったのに対し、今回調査では、「祭り、文化祭、運動会など市や地域の行事」が10.5%、「お年寄りや障がい者等のためのボランティア活動」10.4%となっている。

問15 これからのまちづくりに、あなたは、どのような形で参加したいですか。(1つ選択)

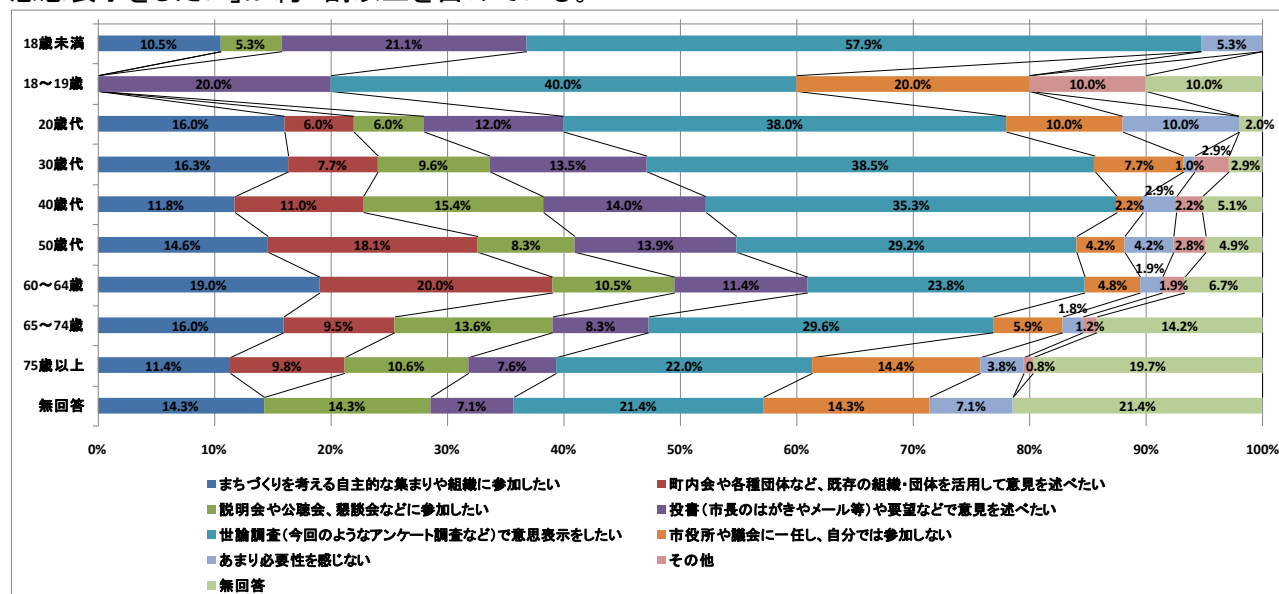
まちづくりにどのような形で参加したいのかを尋ねたところ、「世論調査(今回のようなアンケート調査)」で意思表示をしたい」が30.7%と最も多く、次に「まちづくりを考える自主的な集まりや組織に参加したい」が14.5%、「町内会や各種団体など、既存の組織・団体を活用して意見を述べたい」と「投書(市長のはがきやメール等)や要望などで意見を述べたい」がともに11.6%と続いている。

男女別の傾向を見てみると、男性、女性ともに「世論調査(今回のようなアンケート調査)」で意思表示をしたい」が1位となっているが、2位以下については、男性の2位は「まちづくりを考える自主的な集まりや組織に参加したい」で18.3%、3位が「町内会や各種団体など、既存の組織・団体を活用して意見を述べたい」で14.4%であるのに対し、女性の2位は、「投書(市長のはがきやメール等)や要望などで意見を述べたい」で13.7%、3位が「まちづくりを考える自主的な集まりや組織に参加したい」で12.0%となっている。

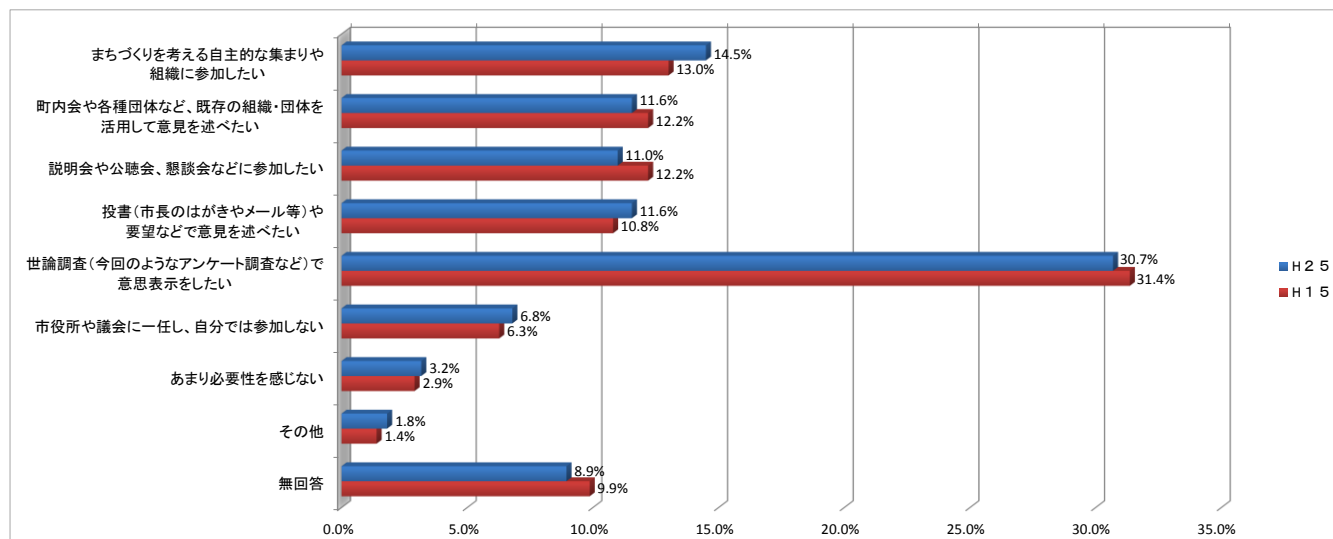
	総計		男性		女性		無回答	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
まちづくりを考える自主的な集まりや組織に参加したい	128	14.5%	66	18.3%	59	12.0%	3	9.1%
町内会や各種団体など、既存の組織・団体を活用して意見を述べたい	102	11.6%	52	14.4%	48	9.8%	2	6.1%
説明会や公聴会、懇談会などに参加したい	97	11.0%	44	12.2%	51	10.4%	2	6.1%
投書(市長のはがきやメール等)や要望などで意見を述べたい	102	11.6%	32	8.9%	67	13.7%	3	9.1%
世論調査(今回のようなアンケート調査など)で意思表示をしたい	271	30.7%	97	26.9%	166	33.9%	8	24.2%
市役所や議会に一任し、自分では参加しない	60	6.8%	22	6.1%	32	6.5%	6	18.2%
あまり必要性を感じない	28	3.2%	6	1.7%	19	3.9%	3	9.1%
その他	16	1.8%	9	2.5%	7	1.4%	0	0.0%
無回答	79	8.9%	32	8.9%	41	8.4%	6	18.2%
合計	883	100.0%	360	100.0%	490	100.0%	33	100.0%

問15の回答における年代別の構成比

問15の年代別の回答構成比を見てみると、各年齢層とも「世論調査(今回のようなアンケート調査)」で意思表示をしたい」が約3割以上を占めている。



【図表16 市民参画の方法について 前回調査との比較】



どのような形でまちづくりに参加したいかについて、10年前と比較すると、上位2項目について変動はなかったが、3番目に多かった回答として、平成15年は「町内会や各種団体など、既存の組織・団体を活用して意見を述べたい」と「説明会や公聴会、懇談会などに参加したい」がともに12.2%だったのに対し、今回調査では、「町内会や各種団体など、既存の組織・団体を活用して意見を述べたい」と「投書(市長のはがきやメール等)や要望などで意見を述べたい」が3番目に多い回答となった。